

第四回 貴族院議事速記 第三十四號

明治二十六年二月二十一日(火曜日)

午前十時五十八分開議

議事日程 第三十四號 明治二十六年二月二十一日

午前十時開議

- 第一 取引所法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第二 商法及商法施行條例中改正並施行法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第三 登記法改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 昨日本院ニ於キマシテ可決ニナリマシタル官報及官有鐵道客車ニ廣告揭示ノ請願、產馬事業保護ノ請願、郡域替ノ請願、千島事業保護ノ請願、昆布輸出税免除ノ請願、牛疫撲滅處分ノ請願ハ意見書ヲ付シマシテ政府ニ送付致シマシテゴザンス、昨日衆議院提出輸入棉花關稅免除法律案及明治二十二年法律第八十四號改正案ヲ受領致シマシテゴザンス、昨日衆議院ヨリ徵兵令猶豫年限改正案ニ關シマシテ通牒ヲ受領致シマシタニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

〔金子書記官長朗讀〕

徵兵令猶豫年限改正案

右貴院提出案本日本院ニ於テ可決シ之ヲ奏上セリ依テ及御通知候也

明治二十六年二月二十日

衆議院議長 星 亨

貴族院議長侯爵須賀茂韶殿

○議長(侯爵須賀茂韶君) 版權法案及出版條例改正法案特別委員會ニ於キマシテ委員長公爵德川家達君、副委員長三浦安君當選ニナリマシタ、次ニ本日ノ議事日程取引所法案、政府提出衆院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

〔川田小一郎君演壇ニ登ル〕

○川田小一郎君 諸君、此程付託セラレマシタ取引所法案ノ特別委員會ノ審査ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此政府提出ノ法案ハ衆議院ニ於テ修正ニナリマシテ政府ニモ之ニ同意セラレタ趣デゴザンスカラ、衆議院ノ修正案ヲ原案ト致シテ審査致シテゴザイマス、政府委員ニ就キマシテ段々質問モ致シマシテ詰マリ可決致スベキ儀ト議決ヲ致シマシタ、段々委員會中ニ質問ノ廉モゴザイマスガ御參考ノタメニ速記録ヲ御廻ハシ申シテ置イタ筈デゴザンス、尙

ホ篤ト御熟覽ノ上デ諸君ニ於キマシテモ速ニ可決アラムコトヲ冀望致シマス、右ノ速記録ニ洩シマシタコトゴザイマスナラバ、ドウゾ政府委員ニ尙ホ御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、詰マリ三日評議ヲ致シマスル中ニ本員ハ生憎初日ニハ日本銀行ノ株式總會ニ付キマシテ缺席ヲ致シマシテ、多分ノ質問ヲ致シマシタ時ニハ遺憾ナガラ缺席ヲ致シマシタニ依ッテ丁度諸君ト御一緒ニ此速記録ヲ見ル位ノコトデ御満足ノ御答ヘヲ得致シマセヌカモ存ジマセヌガ、ドウゾ今申上デマス通り政府委員ニ就テ御質問ヲ願ヒマス、ソシテ此二十二條ニ「株式會社組織ノ取引所ハ商買取引所ノ違約ヨリ生スル」云々トゴザイマスガ此商買取引所ノ所ト云フ字ハ……

〔村田保君「チヨット同ヒマスガ商買トゴザイマスカ」ト述フ〕

イヤ賣買デゴザイマス、是レハ議案ノ印刷ノ誤デ此字ハ無イ字デゴザイマス、一應此事ヲ申上ゲテ置キマス、

○村田保君 本員ハ少々質問ヲ致シタウゴザイマスガ、委員長ニ願ヒタイト存ジマシタガ、委員長ハドウカ政府委員ニ質問ヲシロト云フコトデゴザリマスカラ左様ナラ政府委員ニ質問ヲ致サウト存ジマス、本員ハ此取引所法ガ實施ニナリマシタナラバ忽チ疑ニ點ガ色々出テ來ルダラウト存ジマスカラ之ヲ豫メ確メテ置キタイト思ヒマス、是レハ商法ニ關係ヲシタコトデ、商法ノ千五百四十四條ニ破産宣告ヲ受ケタル者ハ復權ヲ受クルマデ取引所ニ立入ルコトヤ仲立人トナルコトハ出來スト云フ様ナコトゴザリマス、夫レデ此取引所ノ仲立人ト云フ者ハ商法ノ中ニハ間、有ル、然ルニ此取引所法案ヲ見マスト是レガ仲買人ト云フコトニナツテ居リマス、何レモ其物ハ一ツ物デゴザリマスルガ商法ニ於キマシテハモウ既ニ今日ノ議事日程ニ上ツテ居リマスル案ノ中ニモ仲立人ト云フコトニナツテ居ル、サウシテ此取引所法案ノ方デハ仲買人ト云フコトニナツテ居リマスルガ、一ツ政府カラ出マスル法律デーツノ方デハ仲立人ト云ヒ一ツノ方デハ仲買人ト云フコトニナリマスルトドウモ是レハ何レニカ一ツニナラナクテハナラヌト思ヒマスルガ、一體政府ハ其邊ハ如何ノ考デゴザイマスカ、是レハ商法デハ仲立人ト云フコトニナツテハ仲買人ト云フコトニナツテ宜イト一ツノ物ヲ兩方ニ名ヲ付ケテモ宜シイト云フコトデゴザリマスルカ之ヲ一ツ確メテ置キタイ、夫レガ第一、夫レカラ第二ニ此取引所法案デ見マスルト云フト復權セザル破産者及家資分散者ハ會員トナルコトハ出來スト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ此破産トカ家資分散トカ申スコトハ是レハ新法典カラ生レテ出テ來タ文字デ、新法典發布以後ナラバ破産者家資分散者ト云フモノガゴザリマスルケレドモ、新法典發布以前ノモノニハサウ云フ破産者ナドト云フモノハ無イ、諸君モ御存ジノ通り身代限ト云フコトニナツテ居ル、新法典發布前ハ總テ身代限ノ處分ヲ受ケルト云フコトニ

ナッテ居ル、其身代限ト云フモノガ此新法典デ其中カラ破産者ト家資分散者ト斯ウナッテ參リマシタカラ、左様シテ見マスルト云フト新法典發布以前ニ家資分散ノ處分ヲ受ケテ未ダ其辨濟ヲシテ居リマセス者ハ此仲買人ニシロ或ハ會員トナルコトガ出來マシヤ否ヤト云フコトガ本員ノ疑點デアル、是レハ忽チ茲ニ此法ガ發布ニナリマスレバ直グトソコニ疑點ヲ生ズルデアラウト思フ、成程是レカラ先キニ破産トカ家資分散ノ處分ヲ受ケタル者ハナレスト云フコトハ明ニ分リマスガ、今日迄ニ所謂身代限ノ處分ヲ受ケタル者ガ澤山有ル、實ニ算ヘラレヌ程デアアル、其身代限ノ處分ヲ受ケマシタ者ハ會員又ハ仲買人トナレルヤ否ヤト云フコトガ直グ疑點ガ起ルデアラウト思フ、夫レ故此新法典以後ノ辯護士法案ヲ御覽ナサルト能ク分ル、辯護士ニナルコトノ出來ヌ者ハ破産者トハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セザル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケテ未ダ辨濟ヲシナイ者ト斯ウ云フ風ニ言ッテアル、夫レデ今日ハドウモ仕方ガナイ、斯ウ云フ風ニ兩方言ハスト從前ノ身代限ノ處分ヲ受ケタル者ガナレルト云フコトニナル、サウ云フコトニナッテハ甚ダ不都合デアラウト思フ、夫レ故ニドウシテモ破産者トハ家資分散其下ニ身代限ノ處分ヲ受ケテ未ダ負債ノ辨濟ヲ終ヘヌ者トカ云フコトハドウシテモ掲ゲナクテハナラヌ様ナ有様ニナッテ居ル、所ガ此取引所法案ニ於キマシテハ破産者トハ家資分散ト云フバカリデ從前ノ身代限ト云フコトガ九デ脱ケテ居ル、是レガナレルコトニナリマスヤ否ヤト云フコトハ本員甚ダ疑フ、又世上ノ人モ必ズ疑フデアラウト思フ、其點ヲ一ツ承リタイ、夫レト第三ニハ此法案デハ株式會社ノ組織出來ルト云フコトニナッテ居ル、株式會社ノ組織出來ルトナレバ無論商法ノ株式會社組織ニ依ッテ往カナクテハナラヌコトハ明ニ分ッテ居リマス、然ルニ商法ノ株式會社ト云フモノハ取締役ト云フモノヲ置カナクテハナラヌコトニナッテ居ル、ソシテ取締役ハ斯ウ斯ウ云フ場合ハ斯ウ云フ罰ニ處スルト云フ罰文ガ有リマスガ此取引所法ニ於キマシテハ株式會社ノ組織デハ往ケルケレドモ併シ其取締役ト云フモノハ無い、唯其代リニ理事ト云フモノガアル、其理事ト云フモノハドウカト申シマス取締役ノ代リニナル者ノ様ニ思ハレマス、然ルニ商法中ニ段々取締役ハ斯ウ斯ウ云フ場合ハ斯ウ斯ウ云フ罰ニ處スルトゴザイマス、其罰文ヲ此理事ニ當テルコトガ出來マシヤ否ヤ、又商法ニ株式會社ノ組織デハ是非取締役ヲ置カナクテハナラヌコトニナッテ居リマスガ其邊ハドウ云フ風ニ政府デハ御考ヘニナッテ居リマスヤ否ヤ、夫レカラモウ一ツゴザイマス、株式會社ト云フコトデアレバ是レハ立派ナ會社ニ違ヒナイ、是レハ會社ト云フコトハ誰レガ見テモ分ッテ居リマス讀ンデ字ノ如クデゴザリマス、併シ此會員組織ト云フモノガ商法ニ言ヒマス所ノ會社ト申ス

モノデゴザリマセウカ、或ハ商法中ニ共算商業組合ト云フモノガアリマス、此共算商業組合デゴザリマセウカ、夫レガ本員ニハ分ラヌ、夫レヲ一ツ御尋ヲ致シタイ、夫レトマー一ツ此取引所ト云フモノハ今度設立ニナリマスレバ登記廣告ト云フモノヲスルヤ否ヤ、取引所ヲ設ケマスルニハ其際登記廣告ト云フモノヲシナクテハナラヌカト云フコトヲ一ツ御尋ヲ致シタイ、夫レカラ終ニ斯ウ云フコトヲ一ツ、此取引所法案デ見マスルト會員ト云フ者ヲバ除名スルニハ政府ノ認可ガ無クテハナラヌト云フコトニナッテ居ル、此點ガ本員ニハドウモ分ラナイノデ、一體會員ト云フ者ハ互ニ相談ツクデ最初成立ッタモノノ其會員ヲバ例ヘバ會社ノ規定ニ背クトカ何トカ云フコトデ以テ其會員ヲ除名スル場合ニ會員同士デハ出來ンデ政府カラ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトハドウ云フ理由デアアルカ、成程初メ會員ヲバ設ケマスル時分ニ政府ノ認可ヲ受ケタル會員デカラシテ夫レヲ除名スルニハ亦政府ノ認可ヲ得ルトカ何トカ云フコトナラヌ又理窟モアリマスガ、初ハ互ニ相談デ成ッタモノガ夫レガ除名スル場合ニハ政府ノ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フハ夫レハドウ云フモノダラウカト思ヒマス、總テ今日ノ會社ト云フモノ……或ハ今日ノ株式取引所條例ニ致シマセウガ、或ハ米商會社條例ニ致シマセウガ、總テ會社ガ自分ノ仲間同士デ除名致シマスルニハ會社ノミデハ出來ズ仲間同士デハ出來ンデ政府ノ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトハ恐ラクハ何ノ法律ニモ無カラウト本員ハ存ジテ居ル、若シ夫レガゴザリマスルト致シテ見レバ……或ハ除名スルトキニ政府ノ認可ヲ得ルト云フコトナラバ其者ガ退社ナドヲ致シマスルトキニモ矢張り政府ノ認可ヲ得ナケレバナラヌ、ドウ云フ理由デ取引所ノ會員バカリニ限ッテ夫レヲ除名スルノニハ政府ノ認可ガナケレバ出來ヌノデゴザリマスカ、是レハドウ云フ理由ニ基キ又ドウ云フ法律ニサウ云フコトガアッテ基カレタノデゴザリマスカ、之ヲ一應政府委員ニ承ツテ確メテ置キタイト思ヒマス、

○政府委員(齋藤修一郎君) 唯今村田君カラノ御質問ニ付キマシテ及ブ丈ケ説明ヲ致シテ置キマスルデゴザイマセウ、第一ノ此衆議院ニ於キマシテ政府案ニ仲立人トシテアツタモノヲ仲買人ト修正ヲ致シマシタニ附テ此修正ニ政府ガ同意ヲ致シマシタ以上ハ此商法ノ仲買人ニ關シマスル規定ヲ皆此取引所ノ仲買人モ遵守スル事柄ニナリマシテ、其他仲買人ニ關シマスル規定……商法ニ於テ仲買人ニ於テ……仲買人ニ關シマスル規定ニ付キマシテハ取引所法ノ規定ヲ遵守スルト云フ考デゴザリマスル、夫レカラ第二ノ御質問ニ付キマシテハ是レハ法理上ノ解釋デアリマスルカラシテ唯此際ニハ政府ノ見込ヲ申上ゲルガ必要ト考ヘマスルガ、勿論御質問ノ趣意ノ如ク身代限ノ處分ヲ受ケマシタモノモ矢張り此仲立人會員等ニナルコトヲ得ズト云フ政府ハ考デゴザ

イマスル、夫レカラ第三ノ御質問ニ付キマシテハ勿論商法……株式組織ノ取引所ハ即チ一ツノ商事株式會社デゴザイマスルカラ其商法ノ商事會社ニ關係シマスル規定ヲ遵守致シマスルハ無論ト云フ政府ハ考デゴザイマス、然ルニ取締役ト云フ字ト理事ト云フ字ト字ガ違ッテ居リマスル結果ト致シマシテ此理事ト云フモノガ取締役ニ關スル罰ヲ受ケルト云フコトガアリマスル、其商法ト名ノ違ッテ理事ト云フモノニ商法ノ效力ヲ及ビ得サセルコトヲ得ルカ否ヤト云フコトハ是レモ解釋ノ結果デゴザイマスルカラ……政府ノ意見ヲ申シマスレバ勿論商法ノ株式組織會社ニ關係シマスルコトハ皆此株式組織會社ガ遵守スル譯デ、皆ト云フト少シ差開ヘマスガ特別法ニ抵觸セス以上ハ必ズ遵守スル積リデゴザイマスルカラ、即チ商法デ取締役ニ關係シマスル條項ハ理事ニモ及ビ得ルト考ヘテ居リマス、夫レカラ第四ノ御質問ニ付キマシテ會員組織ノ取引所ト申シマスルモノハ是レハ商法ノ共算商業組合ト同ジモノトハ考ヘテ居リマス、全ク一種特別ノモノト考ヘテ居リマス、夫レカラ第五ノ登記廣告ハ如何ト云フ御質問ニ付キマシテハ前段申シマスル如ク株式組織會社ノ取引所ハ商法ノ株式商事會社ニ關係シマスル規定ヲ遵守スベキモノト政府ハ斷定致シテ居リマスルカラ夫レ等モ自然遵守スベキ事柄ト考ヘテ居リマス、夫レカラ第五ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ是レハ取引所ト申シマスルモノハ會員ヲ除名ヲ致シマスル場合ト申シマシテモ第一ニ管理スル人ヲ得マシテ理事等ノ考バカリニ一任シテ貴重ナル營業ヲ營ムモノヲ其取引所ニ於テ終身營業ヲサセヌ様ナ所ノ結果ヲ來スコトハ甚ダ好マシカラヌコトデアルト云フ事柄カラ致シマシテ政府ガ最終ノ判斷權ヲ持ッテ居ルト考ヘテ居リマス、

○村田保君 唯今政府委員カラ御答辯ガアリマシタガ本員ニハドウモ能ク聽キ取レマセヌ所ガゴザイマス、第一ノ所ハ是レハドウ云フ風ニ御考デゴザイマス、商法ニ據ルトカ或ハ取引所ノ法ニ依ルトカドチラカ一ツノ名義デナクテハナラヌト云フ本員ノ考デゴザイマスガ、ソコノ所ノ邊ハ唯今ノ答辯デハチットドウモ分リ兼チマス、商法ハ商法デアノ儘デ宜イ、取引所ハ取引所デ此儘デ宜イ、商法デハ仲立人ト云ヒ取引所デハ仲買人ト云ヒテモ一向構ハヌト云フ御答辯デゴザイマス、第二ニ身代限ノ處分ヲ受ケタモノハ矢張りナレヌト云フ積リダト云フコトデアッタガ夫レハドウモ明文ガゴザイマス、夫レカラ第三ノ理事ニモ及ボス積リダト云フ、是レハ商法ヲ適用スルケレドモ理事ニ及ボスト云フコトガ商法ニハ一向理事ト云フコトハナイ、無イノニ商法ノ規定ヲ理事ニ及ボスト云フコトハ出來マイト存ジマス、夫レカラ第四ニ一種特別ト云フコトハドウモ分ラヌ、一種特別ト云フノハドウ云フモノデゴザイマセウ、商法ノ會社ニ依ルモノカ或ハ商法ノ共算商業組合

ニ依ルモノカドチカニ依ラナケレバナラヌト思フ、一種特別ト云フコトハドウモ分リマセヌ、尙ホ夫レ丈ヲ委シク御説明ヲ願ヒマス、
○政府委員(齋藤修一郎君) 第一ハ私ガ御答ヘテ致シマシタ意味ハ決シテ商法デ仲立人デアアル此法案デハ仲買人デアアルト云フノデハゴザイマセヌ、商法ノ仲買人デアリ此取引所ノ仲買人デアアルト云フコトヲ申上ゲタ考デゴザイマス、

〔村田保君〕商法ニハ仲買人トアリマセヌ、仲立人トアリマス、商法ニ仲買人ト言ッテアルノハ性質ノ變ッタモノデゴザイマス、譬ヘテ見レバ横濱ノ賣込問屋ナドガアレガ商法ノ仲買人ト云フモノデアアル、原語デ言ヘバこんみっしなるニ當ル、仲立人ノ方ハぶろろかあト云フノデ文字ガ違ッテ居リマス〔ト述フ〕
文字ハ違ッテ居リマスルガ衆議院ノ修正ハ商法ノ仲買人ノ積リデゴザイマスルカラ……

〔村田保君〕夫レハ違ッテ居リマス、商法ニハ仲立人トアル……〔ト述フ〕
是レハ商法ニハサウゴザイマスル、商法ニハ仲買人ガゴザイマス、其仲買人ノ積リデゴザイマス、

〔村田保君〕商法ノ千五十四條ノ仲立人ハ何デアリマスルカ、ドウゾ商法ノ千五十四條ヲ能ク讀ンデ下サイ〔ト述フ〕
夫レハ勿論此取引所ノ媒介ヲ致シマス商人ハ取引所ニ於キマシテハ仲買人トナリマシタ以上ハ商法ノ問題ヲ私ガ今日御答ヘラヌルコトハ甚ダ困難ノ譯カト考ヘマス、

〔村田保君〕併ナガラ是レハ政府カラ出ル法案デハゴザイマセヌカ、商法モ政府カラ出ル案デアアルナラバ取引所條例モ政府カラ出ル案デアアルノニ政府デ之ヲ作ル時分ニ商法ヲ見ナイデ作ルト云フ譯ハナイデハアリマセヌカ〔ト述フ〕
ソコ迄ハ本員ハ御答ヘテ致シニクウゴザイマス、

○村田保君 ドウモ本員ノ考ヘマスル所デハドウモ政府委員ハ本員ノ問ヒマスル所ハ一ツモ答辯ガ出來マセヌ、夫レカラ致シマシテ此特別委員ニ置キマシテモドウモ委員長カラモ答辯ガ出來ヌト云フコトデゴザイマス、又委員會ノ様子ヲ見マスルノニ委員會デモドウモ速記録ニモ何ニモソナコトハ言ッテナイ、本員ノ言ッタコトハ一ツモ委員ニ於キマシテ議シタ人ハ獨リモナイ、甚ダ本員ハ委員ノ調ベガドウモ遺憾ニ思フ、ドウゾ本員ハ甚ダ御面倒デハゴザイマスルガモウ一遍委員ニ於キマシテ唯今本員ノ述ベマスル所ヲ調査ヲ願ヒタイ、左モゴザイマセヌト取引所法ヲ實施ニナリマスルト直グト此

問題ハ起ル、忽チ此問題ガ起ルノヲ議院デ論ゼズニ旨判ヲ捺シタト言ハレテハ貴族院ノ體面ニ拘ハルト思フ、是レハドコモ研究ヲシナクテハナラヌコトデアアル、ドウモ政府委員ハ商法ノコトハ知ラヌト云フガ商法モ政府カラ出ル又取引所法案モ政府カラ出ル一ツ案デアリナガラ、殊ニ取引所法ハ商法ニ對スルモノデアアル、其商法ニ對スル法案ヲ作ルノニ商法ノコトハ知ラヌト云フ、又此ニ明文ヲナイモノヲナクテモ據ル積リダト云フハ實ニヒドイ話デアラウト思フ、ドウゾ滿場諸君モソコヲ御開分ケ下サレテモウ一遍委員會デ以テ唯今本員ノ述べマスル所ヲ十分ニ研究シテ、此儘デ出スナラ出シテモ宜シウゴザイマスガ此法案ニ付テ人ガ疑問ヲ起シタトキニ是レハ斯ウ云フ譯ダト云フコトノ答ヘノ出來ル様ニ研究ヲシテ置カナケレバナラヌコトダラウト思ヒマス、故ニドウゾモウ一遍此點ニ付キマシテ委員ニ於テ御調ベヲ願ヒタイト思ヒマス、

〔藤村紫朗君演壇ニ登ル〕

○藤村紫朗君 私ハ唯今村田君ノ特別委員ニ再付託說ニ同意ヲ致シマス、實ハ本案ハ甚ダ不完全ト認ムル所ガアリマスルノデ委員再付託說ヲ提出シヤウト考ヘテ居リマシタガ、折角村田君ヨリ其動議ヲ發セラレマシタカラ之ニ賛成ヲ致シマシテ再付託スベシト云フ理由ヲ簡短ニ申述ベヤウト思ヒマス、委員長ノ報告ニ依リマスルト一字一句ノ修正ヲ須ヒズシテ委員會ニ於テハ可決ニナリマシタ趣デゴザリマスルガ、之ニ依ッテ見マスレバ委員會ハ此法案ハ完全無缺ト認メラレタモノト思ハレマスル、然ルニ私ハ大體ニ於テ本案ノ精神骨髓トモ言フベキ箇條ニ於テ甚ダ不完全ナコトガアラウト思フテ居リマスル、第一不完全ト思フ點ハ本集中ニ此取引所設立ノ方法、出願ノ手續等ノ規定ガ無イノデアリマス、サウシテ別ニ其事ヲ勅令省令等ヲ以テ定メルト云フ箇條モ見エナイノデアリマス、尤モ此事ニ就キマシテハ前會ニ於キマシテ小畑君ヨリ質問セラレマシタガ右ニ對シマシテ固ヨリ夫レハ商法ニ遵由スル積リデアアルト斯ク農商務大臣ハ答ヘラレマシテゴザリマス、併シ私ハ其答辯ニハ未ダ容易ク承服スルコトガ出來ナイノデゴザリマス、何トナレバ商法ニ規定致シマスル手續ノミデハ何分本案ノ此取引所ト云フモノハ成立タヌノデアリマス、御承知ノ通り取引所ノ組織ニハ株式會社組織ト會員組織トノ二様ニナッテ居リマス、則チ本案ノ第五條ニサウ規定シテアリマス、ソコデ商法ニ據ッテ株式會社ヲ組織致シマスルニハドウ云フ手續トナルカト申シマスト四人以上發起人トナッテ先ヅ發起ノ認可ヲ得ナケレバナリマセス、委シクハ略シテ述べマセスガ夫レヨリ種々ノ手續ヲ運シテ然ル後ニ會社設立ノ免許ヲ受クル順序トナリマスルノデアリマス、以上ガ株式會社ヲ設立スル商法ノ手續デアリマス、サウデアリマスルガ是レデハ取引所ト云フモノハ成立ッタ譯

デハ無イノデ、取引所設立ノコトハ別段ニ出願シテ免許ヲ受ケナケレバナラヌ、其證據ハ商法ノ第六十八條ニ斯ウアリマスル「法律命令ニ依リ官廳ノ許可ヲ受ク可キ營業ヲ爲サントスル會社ハ其許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス」斯ク規定シテアリマスル、然シテ此取引所ハ右商法ノ第六十八條ニ所謂官廳ノ許可ヲ受クベキ營業デアルト云フコトハ又本案ノ第一條ニ「賣買取引ノ繁盛ナル地區内ノ商人ハ政府ノ許可ヲ受ケテ」云々ト斯ウアリマス、政府ノ許可ヲ受ケテ一種若ハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スルコトヲ得ト斯ウアリマスルカラ唯株式會社設立ノ免許ヲ受ケタノミデハ此取引所ハ成立チマセヌ、別段ノ免許ヲ受ケナケレバナリマセヌ、右ノ通りノ譯デアリマシテ詰マル所株式會社組織ノ取引所ハ二ツノ免許ヲ受ケネバ成立チマセヌ、即チ一ハ商法ニ據ッテ株式會社設立ノ免許ヲ受ケナケレバナリマセヌ、今一ツハ此取引所法ニ據ッテ取引所設立ノ免許ヲ受ケナケレバナラヌ譯デアッテ、唯商法ノ手續ニ據ルノミデアッテハ商法ノ手續ハ成立タヌノデアリマス、右ハ株式組織ノ取引所ノコトヲ申シタノデアリマスルガ今一ツノ會員組織ノ方デアリマス、此會員組織ハ商法中ノ合名會社ト云フニモ當嵌マリマス、又合資會社ト云フノニモ當嵌マルマイト存ジマス、果シテサウデゴザリマスナラバ商法ニハ九デ關係ノ無イモノデアリマス、農商務大臣ノ答辯ノ如ク取引所ヲ設立スル方法出願等ノ手續ハ商法ニ遵由スルト言ハレマシタコトハ無論出來ナイノデアリマス、斯ク論ジ來ッテ見マスルト株式會社組織ノ取引所ト雖モ商法ニ遵由スルノミデハ取引所ハ成立タヌ、會員組織ノ取引所ヲ設立スル手續等ニ至ッテハ全ク無法無規定デアッテ、ドウスレバ設立シ得ラレルカ其端緒方向ダモ本案デハ窺知ルコトハ出來ナイノデアリマス、全體設立方法ノ如キ又出願手續ノ如キハ即チ取引所ト云フモノノ由ッテ成立スル所デアリマス、解散ト云フ規定ト是レハ相應シテ最モ必要缺クベカラザル條件デアラウト私ハ考ヘル、又他ノ法律ノ例ニ依ッテ見マシテモ法律ニ於テ規定シナケレバナラヌコトト私ハ信ズル、然ルニ本案ニハ全ク之ヲ缺イテアリマスルガ是レハ大分重イ不備デアラウト思フテ居リマス、第二ノ不完備ト云フ點ハ資本金、營業保證金、積立金ノ此規定ヲ勅令ノ定ムル所ニ本案ニハ一任シテアリマス、又取引所會員及仲買人ノ身元保證金ト云フモノヲ本案ニ於テハ單ニ取引所ニ納ムベシトアルノミデ勅令デモ定メズ省令等デモ定メズト云フコトニナッテ居リマスル、多分此身元保證金ハ取引所ノ定款デ定ムルト云フコトニ一任シテ居ルカト推察ヲ致シテ居リマス、第三ノ不完全ト云フ點ハ取引所ノ設立ヲ許スベキ地區ノ定メ方ヲ當局大臣ニ一任シテアリマス、尙ホ不完備ト思フコトハ外ニモアリマスガ是レガ重ナル點デ、先ヅ外ノコトハ省イテ申上ゲヌ積リデアリマス、扱右ノ資本金、營業保證金、積立金、夫

レト會員仲買人ノ身元保證金ノ如キハ此取引所ニドウ云フ關係ヲ有スルモノ
デアルカト申シマスルニ是レ等ノ資本金ハ全ク取引所ノ存立スル所以ノ要素
ト云フテ可ナルモノデアリマス、若シ取引所ト云フモノニ右ノ資本金ヲ營業
保證金、積立金ト云フモノガ設備セラレマセデアリマシタナラバ如何ニ完
全ナル法律ヲ以テ保護シマシテモ又ドウ云フ嚴重ナ監督ヲ致シマシテモ其取
引所ハ果シテ信用ハアルマイト思フノデアリマス、信用ノアリマセヌ取引所
ハ……本來此取引所ト云フモノハ賣買取引上ノ便宜ノタメニ設立スルモノデ
アリマスガ其便宜ヲ爲サナクナツテ仕舞ヒマス、故ニ國家ノ法律ニ於テハ一方
ニ於テハ夫ノ規定ヲ設ケテ營業上ノ弊害ヲ豫防監督スルト同時ニ又一方ニ於
テハ資本金トカ營業保證金トカ身元保證金ト云フ様ナ制ヲ設クルノ必要ガ生
ズルノデアリマス、即チ此制ハ取引所ノ信用ト鞏固トヲ保護スルモノデアリ
マス、若シ此通り取引所ノ存立スル所以トモ云フベキ資本金、營業保證金、身
元保證金等ヲ設備致シマスル方法ガ法律ニ規定シテアリマシテモ其規定ガ不
適當デアリマシテ或ハ何カノ事情ニ依リ又ハ當局者ノ考案次第容易ニ之ヲ
動カシ得ラレ自由ニ變更スルコトガ出來得ルモノト致シマシタナラバ法律ノ
目的ハ……法律ハ其目的ヲ達スルコトハ得ナイノデアリマス、サウシテ其取
引所ト云フモノハ甚ダ不鞏固ナモノデアツテ此取引所ニ居ツテ賣買取引スル
者モ取引所ニ信用ヲ置クコトハ出來ナイデアリマス、從ツテ其營業者モ亦其
營業ニ安心スルコトガ出來ナイト云フ結果ヲ生ズルデアラウト思ハレル、然
ル處ガ本案ニ於キマシテハ斯ノ如ク取引所ニ重大重要ノ關係ヲ持ツテ居リマ
スル所ノ資本金、營業保證金、積立金ノ規定ヲ一々行政官ニ委任致シマシテ
サウシテ又身元保證金ハ取引所ノ定ムルニ放任シテアリマスルガ、斯ノ如
クニシテ斯ノ如キ法律ノ下ニ立ツ取引所ハ之ヲ鞏固ト申サレマセウカ、私ハ
甚ダ不鞏固デアルト考ヘマスル、又斯ノ如キ取引所制度ハ之ヲ完備ト申サレ
マセウカ、私ハ斷ジテ不完備ノ制度ト云フテ差支ハナイト思フテ居リマス
、諸君試ニ既往ノ有様ニ就テ御考ヘニナリマシタナラバ或ハ御分リニナル
ダラウト思ヒマスルガ、從前兎角此行政諸般ノ施設ハ其當局者ノ更迭毎ニ主
義方針ガ變更サレルト云フコトハ掩フベカラザル事實デアリマスル、サウシ
テ其事柄ニ依ツテハ大イニ人民ニ迷惑ヲ掛クルコトガアリマス、文部ノ教育
上ノ事ナドハ著シキ其一例デアアル、故ニ將來諸般ノ制度ヲ設クルニ當リマシ
テハ御互ニ成ルベク是レ等ノ弊ヲ避クルコトニ定メタイト云フコトハ私ガ平
素竊ニ冀望シテ居ル所デアリマスルガ、本案ニ對シテ前ニ不鞏固デアアル不完
備デアルト申シマシタノハ畢竟右ノ弊ヲ生ジ易イ法案デアルト云フコトヲ意
味シテ申スノデアリマス、此取引所ノ制度ニ於キマシテ資本金、營業保證金
等ノ規定モ亦取引所ヲ許可スベキ地區ノ定メ方モ本案ノ如ク一ニ法律ガ行政

官ニ委任シテ置クト云フコトニ致シマシタナラバ右ノ時々變更スルト云フ様
ナ弊ヲ生ジ易カラウト思ヒマスル、譬ヘバ現任ノ農商務大臣ガ若シ取引所ト
云フモノハ比較的ニ弊害ガ多ク利益ノ少イモノデアルト斯ウ云フ考ヲ抱カ
レマシタナラバ成ルベク此取引所ノ設立ヲ防グタメニ、又取引所ヲ設立スベ
キ地區ヲ減ズルタメニ、又既ニ設立シタモノモ潰スガ宜カラウト云フ様ナコ
トデアツタナラバ、其手段トシテ資本金ヤ身元保證金ト云フモノノ額ヲズ
ト高メラレルデアリマセウ、又設立地區ノ如キモ區域ヲ大キニシテ容易ニハ
許サヌト云フ様ナ改正ヲ加ヘラレルデアリマセウ、之ニ反シマシテ若シ將來
交代スル所ノ當局大臣ニ於テハ取引所ト云フモノハ經濟上誠ニ宜イ機關デア
ル商業ノ發達上ニハ必要ナモノデアルト斯ウ云フ考ヲ抱カレタナラバ自然各
地ニ右取引所ノ設立ヲ勸誘スルタメニ資本金ヤ身元保證金ト云フ様ナモノノ
額ヲ安クシテ仕舞ハレルコトガ出來マセウ、又設立スベキ地區モ其區域ヲ狹
メテ田舎ノ宿驛ノ様ナ所迄モ設立セシメルト云フ様ナ手段ガ取レルデアリマ
スル、彼ノ地方長官ニ學校知事或ハ土木知事ト云フ様ナ弊害ガアリマスル
ガ、畢竟此類デアツテ人ハ各、其見ル所ニ依リマシテ前當局者ノ致シタコト
モ變更致ス傾ガアリマスル、然シテ其見ル所ニ付テハ專ラ其所ニ力ヲ盡スト
云フコトハ是レハ免レ難キ事情デアルト思ヒマスル、若シ果シテ斯様ナ事實
ガアリトシマスナラバ第一此取引所制度ハ甚ダ不完備デアツテ薄弱ナモノデ
アル危險ナモノデアルト云フコトヲ得マセウト思ヒマス、從ツテ營業者ト云フ
モノハ常ニ其營業ニ安ンズルコトガ出來ナイ譯デアリマスルカラ私ハ是非取
引所ノ設立ヲ許可スベキ地區ノ如キモ亦此法律ニ依ツテ其標準ヲ定メテ置キ
タイ、夫レカラ取引所ノ資本金、營業保證金、積立金又ハ會員仲買人ノ身元保
證金ノ制モ此法律ニ於テ規定シタイト云フコトヲ切ニ希望シテ居リマスル、
從來ノ經歷ニ依リマスルバ別ケテ大臣ノ更迭ノ頻繁ナルハ農商務省デアリ
マスル、是レハ農商務省ノ主管デアリマスルカラ別シテ是等ノコトニハ注意
ヲ致シテ置キタイト冀フノデアリマスル、然ルニ聞ク所ニ依リマスルバ取引
所ニ關係アル實業者ニ於キマシテハ會期切迫ノ今日デアルカラ若シ本院ニ於
テ修正シタナラバ衆議院ト協議ノ餘日ガナイタメ遂ニ不成立ニ終ルカモ知レ
ヌト云フコトヲ心配ヲ致シマシテドウカ本案ニ對シテハ一字一句モ修正ヲ須
ヒズシテ通過シテ貰ヒタイト云フ希望ガアル趣デアリマスル、其理由トシテ
ハ本案ノ儘デ少しモ實業者ニハ差支ハナイト云フコトヲ言フテ居ルサウデア
リマスルガ、前ニ述ベマスル通りニ深く考ヘマスルト彼レ等營業上ニ斯様ニ
不鞏固ノ分子ヲ含ンデ居ル法案ト云フコトハ悟ラヌモノト見エマスル、唯皮
想上差支ノナイト云フコトヲ認メテ只管ニ通過ヲ望ムト云フコトハ私ハ頗ル
解シ難イコトデアリマス、無論私ハ如何ニ右ノ如キ希望ガアツテモ此協賛ノ責

任ラ盡ス上ニ於キマシテハ見ル所ガアレバ衆議院ノ決議通り狂ゲテ同意スルコトハ出來ナイノハ固ヨリデアル、縱令修正スルガタメニ不成立ニ終ルノ結果ヲ見ルモ私ハ又已ムヲ得スト思ヒマス、然ルニ縱令不成立ニ終ルモ本法ニ依ッテ繼續致シマスル現今ノ米商會所株式取引所ノ如キハ體力來年ノ七月迄延期ニナッテ居ルト思ヒマスルガ、然ラバ本案ハ第五期ノ議會ニ於テ決議ニナッテモ實業者ニハ差支ハナイコトデアルト思ハレマス、以上述べマサル所ガ本法ノ不完備ト云フ骨子デアリマスルガ、要スルニ本案ノ第二條ノ但書ニ關係シマスル取引所ノ設立ヲ許スベキ地區ノ標準取引所設立ノ方法出願ノ手續等ヲドウカ新ニ規定シタイ、又本案ノ第十四條ノ取引所ノ會員仲買人ノ身元保證金額並ニ三十四條ノ資本金額營業保證金額積立金ノ方法等ヲ此法律ニ於テ規定スルノ修正案ヲ取調ベルタメニ再ビ特別委員ニ付託スルト云フコトヲ望ム動議ヲ提出スル積リデアリマシタノデアリマス、實ハ文案ヲ具ヘテ二讀會ニ於キマシテ修正説トシテ提出シテ宜シイデアリマスルガ金額ノコトニモ關係ヲ持ッテ居リマス、又地區ノ取調ナドヲ致シマスルニハ政府ノ材料ヲ借ラナケレバナラスト云フコトモアリマス、又夫レ等ノコトニ付テハ隨分御議論モ多カラウト思ヒマスルカラ不完全ナル修正案ヲ提出シマシテモ却ッテ議事ノ撓取りヲ妨ゲルカト思ヒマスルカラ特別委員ニ於テ篤ト政府委員ニ現今行ハレテ居リマスル三條例實施ノ有様等ヲモ委シク質問ニナッテ取調ベラレマシタナラ完全ナル修正ヲ得マシテ却ッテ議事ノ撓取りヲ便宜デアラウト考ヘマスルカラ再付託ノ動議ヲ提出シヤウト考ヘタ譯デアリマス、何卒諸君モ村田君ノ動議ニ御賛成アラムコトヲ私ニ於テモ希望致シマス、

○男爵小澤武雄君 唯今村田君カラ本案ヲ同一ノ委員ニ再付託スルト云フ説ガ出マシテ藤村君ノ賛成ガアリマシテ此動議ガ成立コトト考ヘマスガ、本員ハ此取引所ノ法案ノ特別委員ノ一人デアリマスガ、同一ノ委員ニ再付託ヲスルト云フコトハ御斷リヲ申シタイノデアリマス、其次第ハ先キニ此委員ヲ選バレマシタ時ニ是レ丈ケノ隨分條數ノアル法案ニモ拘ラズ三日ノ間ニ審査報告ヲセヨト云フ制限ヲ附ケラレマシタニ依リマシテ日曜日等ニモ關係セズ出席シマシテ成ル丈ケノ審議ヲ盡シマシタ結果ガ今日ノ結果ニ至ッタノデゴザリマスガ、其結果ガ諸君ノ御氣ニ入りマセスカラシテ此委員ニ再付託スルト云フコトニナリマシタ、所ガ矢張り會期モ愈々迫ッテ來ル時ニ又短イ日限ヲ限ラレコトニナルカモ知レナイ、且ツ前ノ委員會ノ景況ヨリ本員ガ推測ヲ致シテモ再付託ニナッタ所ガ諸君ガ満足ノ結果ヲ得ルコトハ甚ダ難イコトト考ヘマス、是レハ提出者ガ同一ノ委員ニ付託スルト云フノデハナイケレドモ形式上先ヅサウ云フ様ニシタラ宜カラウト云フ様ナ御考ヘデアアルカモ知

レマセヌ、若シサウデアラナラバ寔ニ幸ノコトデアアル、ドウゾ本員等ハ同一ノ委員ニ再付託トスルコトハ御斷リヲ申上ゲルノデアリマス、新ニ委員ヲ御撰ビニナルコトハ是レハモウ諸君ノ御勝手ノコトデゴザリマス、

○松岡康毅君 本員ハ政府委員ニ質問ヲ致シタイノデアリマス、此會員組織カラ成立ツ所ノ取引所ト云フモノハ商法ニ申ス共算商業組合ニ當ルカ否ヤト云フ村田君ノ質問ニ對シテ政府委員ガ先刻何カ答ヘラレマシタカ本員ハ遂ヒ其所ヲ聽キ落シマシタ、併シ本案ノ第七條ヲ見マスレバ「取引所ハ法人トシテ財産ヲ所有シ及之ヲ處分スルコトヲ得」ト云フト、有限責任會社ト云フ様ナモノニ見ユルノデアリマス、會社ト申ス文字ハゴザイマセヌガ商法ノ會社法ヲ以テスルト云フコトハ先日農商務大臣ノ答辯モアツタ様デゴザリマス、然ルニ商法デ合名會社ヲ始メルト致シマシテモ先ヅ合名會社ト申シマスルモノハ資本ヲ備ヘテ一ツノ營業ヲ目的トシテ往クノ會社ノ性質、會員組織ノ取引所ト云フ所ハ恐ラクハ資本金ヲ備ヘルト云フコトハナイノデアラウト思ヒマス、サウスルト合資會社デモナケレバ固ヨリ株式會社デモナイ、其會員組織ノ取引所ガ法人トナッテ財産ヲ所有シ處分シ有限責任ダト云フコトハ、ドウ云フ所ノ商法ニ引キ合フノデゴザイマセヌカ、其點ヲ一應承リタウゴザイマス、其次ニ是レハ法律論デハゴザイマセヌガ疑ノアルノハ理由書ノ中ニ「米商會所及株式取引所ハ其ノ營業滿期ヲ待テ之ヲ廢止セシメ營業上ノ弊害ヲ洗除シ公正直實ノ商慣習ヲ養成センコトヲ期シタリキ」トゴザイマスルガ此營業上ノ弊害ヲ洗除スト云フ、洗除シヤウト云フ所ノ弊害ト云フモノハ如何様ナモノヲ指サレタノデアラウカ、弊害ト云フモノハ……夫レカラ夫レニ續イテ公正直實ノ商慣習ヲ養成シヤウト云フ反對シタル所ノモノデアリマスルガ其反對……前ノ弊害ニ反對スル所ノモノハ何レヲ指サレタモノデアラウカ其事ヲ承リタイ、終ニ「俄ニ之ヲ廢止スルトキハ實際反テ其激變ニヨリ意外ノ影響ヲ商業上ニ及ホサントスル虞アルヲ以テ」云々トゴザリマス、是レハ激變ヲスレバ意外ノ影響ヲ商業上ニ及ボス、此意外ト申セバ分ラナイト云フコトデアリマスルガ多少事情ガ何程カ無クバ……亦其所ニアラウモ知レスト云フ頓著ガアル、弊害ガアル、營業ヲ急ニ止メタラバ意外ノ影響ヲ商業上ニ及ボスデアラウト云フ心配ヲシタト云フコトデゴザイマスガ、夫レハ凡ソドウ云フモノニ當ルデアリマセウカ、何ニモ分ラナイ、ドノ様ナモノガ出ルカモ知レスト云フテハ、ドウモ實務ヲ執ル上ニソシテ漠然トシタコトハナイ筈デ、是レ丈ケノ箇條ヲ御説明ヲ請ヒタイト思ヒマス、

○政府委員(齋藤修一郎君) 松岡君ノ第一ノ御質問ニ付キマシテハ先刻村田君ノ御質問ニ對シテ私ガ御答ヘヲ致シマシタノハ此會員組織ノ取引所ハ御説ノ通り勿論此商事會社ノ種類ニ當リマセウ、共算組合ノ商業ニハ當ラヌト考

ヘマスノデゴザリマス、要スルニ是レハ特別ノ商事ニ關係シタ特別ノモノデ
ゴザリマセウト申上ゲタノデゴザリマス、唯今夫レヲ以テ御答ヘト致シテ宜
カラウカト考ヘマス、夫レカラ此理由書ノ質問ニ付キマシテ是レハ夫レモ
ゴザイマスガ、要スルニ營業上ノ弊害ヲ洗除シ公正直實ノ商慣習ヲ養成セム
コトヲ期シタリト申シマスハ二十年發布ノ勅令第十一號ノ取引所條例ノ精
神ヲ申シタコトト承知致シマス、即チアレニ付テ買戻ヲ禁ズルモノガアリ又
ハ代米等ノ流用ヲ禁ズル等ノコトハアノ取引所條例ニ載テ居リマス、然ルニ
此事タルヤ實ニ此後段ニ至リマシテ「數百年ノ沿革ヲ有シ因習ノ久シキ俄ニ
之ヲ廢止スルトキハ實際反テ其激變ニヨリ意外ノ影響ヲ商業上ニ及ホサント
スル」ト云フ意味ニ書イタ所以ト申シマスルモノハ要スルニ此武藏中米ヲ買
タノデアルノニ其代リニ攝津又ハ武藏米ノ下米ヲ渡スコトガ出來ル、必ズ受
取ラナケレバナラヌ口トシテ受取ルト云フコトハ實物ノ賣買上カラ云ヒマシ
タナラバ隨分一方カラ見マスレバ困ッタ……ト云フ様ナコトニナルカト考ヘ
ル、然ル故ニ格付等ノ代米ヲ許シテハナラヌト云フノデ二十年ノ勅令第十一
號デ取引所條例ニアッタノデゴザリマス、併ナガラ今日之ヲ止メテ仕舞ヒマ
シタナラバ迎モ此相場上ノ取引ト云フモノハ成立ツコトハ出來マセヌニ依
テ其結果トシテ此米ノ賣買ノ如キハ隨分云フベカラヌ所ノ即チ意外ノ影響ヲ
商業社會ニ及ボシマシテ、商家ニシマシテモ仲買ニシマシテモ米ノ相場ノ歸
著スル所ヲ殆ド知ラズシテ五里霧中ニ迷フコトガ起リマセウト云フ考ヲ以テ
即チ意外ノ影響ト申シタモノト考ヘマス、

〔木下廣次君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 最早正午ヲ過ギマシタニ依ッテ一應休憩ヲ致
シマス、

午後零時十二分休憩

午後一時十六分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 午前ノ會議ヲ繼續致シマス、
○松岡康毅君 政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザリマス、

〔木下廣次君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今松岡君ニ發言ヲ許シマシタ、
〔木下廣次君〕政府委員ノ出席ヲ待チツ、委員ノ一人トシテ辯明ヲ致
シテ置キタウゴザイマス「ト述フ」

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チ下サイ、

○松岡康毅君 政府委員ニ質問ヲ致シマスガ唯今休憩前ニ第七條ノ所ヲ質
問致シマシタレバ夫レハ商法ノ會社ヤ何カニ據ルノデナイ全ク特別ノ規定

デアルト云フ答ヘデアリマシタ、商法ノ第二條ニ於キマシテ「特種ノ商事又
ハ商人ノ爲メニ發布シタル法律命令及ヒ規則ノ効力ハ本法ニ因リ妨ケラル、
コト無シ」トゴザイマス、商事ニ付テ法人ニナリ財產ヲ所有シ財產ヲ處分ス
ルトナッタモノガ之ヲ取引所法案即チ商法ノ中ニアル取引所デアル、其取引
所ノ事柄ヲ茲ニ商法ニアル取引所ノコトヲ此所ヘ一ツ加ヘラル、コトガ出來
ル時分ニハ其中ノコトハ特別ダト、商法ノ中ニ無イガタメニ一ツノ特種ノ商
事カ何カ特種ノコトヲ拵ヘルナラバ聞エルガ商法ノ中ノ取引所仲立人ト云フ
名ノ通りノ性質、仲立人ノ性質モ出來テ居ル、夫レニ此七條ニアル法人ト云
フモノハ會社デアアルカト云ヘバ夫レハ特別ト云フ、サウスルト特別ト云ヘバ
商法ノ規定ニ抵觸シナイト致シタ所ガ商法ノ支配ヲ受ケナイ特別デアルト云
フトキニハ此七條ト云フモノハ無形人ノ法人ト云フコトニナルト此一條ギリ
デ特別デ何モカモ支配ガ出來テ網羅シ盡スト云フ説明ノ意思デゴザイマセウ
カ否ヤ其所ヲモウ一應確メタイ、次ニ營業上ノ弊害ヲ洗除シ公正直實ノ商慣
習ヲ養成シ云々ト云フ所ハ夫レハ先年二十年ニ取引所條例ヲ拵ヘタ時分ノ政
府ノ意思デアッタノデアアル、云フ所カラ先刻説明ヲ承リマシタ所ガサウスル
ト二十年ノ條例ヲ拵ヘタ時分ニハ空相場ノ取引ダト云フコトニ付テハ營業
上弊害ト認メテ夫レヲ洗除シテ公正直實ノ慣習ヲ養ハナケレバナラヌト思ッ
タガ段々歲月ガ立ッテ來テ見ルト弊害ト認メタモノハ弊害デナクシテ公正直
實ノ商慣習ヲ養成シナケレバナラヌト云フコトハモウ入ラヌノデアアル、夫レ
故ニ此法案ヲ拵ヘタト云フ様ニ承リマシタガ果シテサウデアリマスカ、夫レ
ヲ一應説明ヲ煩シタウゴザイマス、

○政府委員(齋藤修一郎君) 第一ノ松岡君ノ御質問ニ付テハ私ノ申上ゲマ
スルノモ矢張り商法ノ總則第二條ヲ云フノデゴザイマスガ、此取引所法案ニ
アリマスル第七條丈ケデモウ夫レ完備シテ仕舞ッテ居ルト云フ心持デハナ
イノデゴザイマス、夫レカラ第二ノ御質問ニ付テハ二十年ノ當時營業上ノ弊
害ト認メテ居リマシタモノモ幾分カ今日ニ至リマシテハ弊害デナイト認メテ
居ルヤ否ヤト云フ御質問ハ如何ニモ或ル部分ニ於キマシテハ其心持デアアルノ
デアリマス、是レデ足リテ居ルト思ヒマス、

○木下廣次君 午前村田君ノ質問中ニ於キマシテ此法案ヲ委託サレタ所ノ
委員會ガ稍不注意デ何ノ質問モナク、政府委員ニ向ッテ質問モナク經過シ
タ様ナ御説デゴザリマスカラシテ私ハ委員ノ一人トシテ其事ヲ辯明致シマ
ス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 夫レデハイッソ演壇ニ御出ニナッタラ宜シウ
ゴザイマセウ、

○木下廣次君 イヤ左マデ長イコトデハゴザイマセヌ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 併シ演壇デ能ク聞エル様仰ッシヤッタ方ガ宜シウゴザイマセウ、

〔木下廣次君演壇ニ登ル〕

○木下廣次君 成程村田君ノ御説ノ如ク質問ハ至ッテ少ウゴザリマシタ、私一人ニ取リマシテハ少カッタデゴザリマス、又村田君ノ提出ニナリマシタ所ノ質問ノ條々ニ於キマシテモ私ハ一向政府委員ニ向ッテ質問モ致シマセヌ、故ニ固ヨリ速記録ニ存在シヤウ道理モゴザリマセヌ、然ル所以ト云フモノハ私ハ餘リ質問スルニ及バスト思ヒマシタカラ餘リ質問ハ致サナカッタデアリマス、先刻村田君ノ此政府案ニハ仲立人トゴザイマスノヲ衆議院デハ仲立人ト變ジタト云フコトハ即チ商法ニ照シ合セルト仲立人トアルベキヲ仲買人ト云フニナッタニ依ッテ取引所ニ附屬スル所ノ仲買人ト云ヘバ商法ニ牴觸スルデアラウト云フ御議論ノ様デゴザイマス、成程此商法ガ實施ニナッテ居ルナレバ是レハ無論至當ノ御見解ト思ヒマスケレドモ、既ニ此商法ト申シマスモノハ稍々外國ノ慣習ヲ採用シテ居ルト云フテ我々ハ餘程聲高ク村田君ト一所ニ叫ビマシタノモ最モ是レ等ノ點ニ於テ存在シテ有ッタノデゴザイマス、日本ニ是レ迄仲立人ガアリ仲買人ト云フ區別ガゴザイマシテ既ニ判然シタモノガアリマスレバ夫レハ無論何ノ譯モゴザイマセヌガ、此仲買人仲立人ナルモノハ申サバ外國輸入ノ名稱デアッテ直譯のカラ成立ッタカトモ存ジマス、其存在セザル……慣習ノ存在セザルノヲ以テ商法中ニ編纂シテ之ヲ法律ヲ以テ負ハセルト云フコトニ付テ村田君ト我々ハ不同意ヲ唱ヘタ譯デアアル、然ルニ此取引所法案ニ於キマシテハ是レハ現在日本ノ當時ノ慣習ニ依ッテ定メラレタモノト想像致シマス、政府委員ハ如何アリマセウトモ委員會ノ理解シマシタ所ハ左様デゴザリマス、又衆議院デ之ニ修正ヲ加ヘマシタ其修正モ矢張り現時ノ様ヲ見テ法文ニ載セタモノト委員會デハ想像致シタノデアリマス、即チ仲立人ヲ仲買人ト變ジタノハ現時ノ情況ニ照シテ然カアルベキモノデアルト云フ意カラ衆議院デ斯ノ如ク修正ヲ致シマシタモノト想像致シマス、サウ致シマスレバマダ商業上ニ於キマシテハ仲立人ト云フ名稱モゴザリマセヌモノヲ當時ノ仲買者ニ持ッテ行キマシテ其名稱ヲ付シ、オマケニ實施ニナラザル所ノ商法ノ定義ヲ取ッテ今日ノ仲買人ニ付スルト云フコトハ私ハ事實非常ノ困難ヲ生ズルコトデアラウト云フ考カラシテ此仲買人ト云フ修正ニハ質問モナシニ同意ヲ表シマシタ譯デアリマス、夫レカラ理事長理事ト云フコトニ付キマシテ同ジク商法ヲ御引キニナリマシテ商法ノ株式會社ニハ取締役ト云フモノガアル、此取締役ト理事トノ差ハ如何ニト云フ御問ノ様デゴザイマシタガ成程是レハ名目ガ違ッテ居リマス、株式會社ニ於キマシテハ商法デハ取締役ト申シテ居リマス、此法案ニ於キマシテハ理事ト申シテ居リマス、

是レ等ノコトハ政府委員モ説明ガゴザイマシタガ註釋上ノ區域ニ這入ルコトデアリマシテ一ツノ是レガ株式會社ノ性質ナルモノト見マシタナラバ其會社ノ社員ニ……役員ニ付シマスル所ノ名ハ如何ニゴザイマセウトモ其性質上ヨリ推來リマス、推來リマシタル時ハ即チ商法ノ右ノ取締役ト云フコトニ解釋致シマスルノハ少シモ差支ナカラウト思ヒマス、茲ニ理事ト云フテゴザイマシテモ株式會社ノ理事トアレバ取りモ直サズ即チ商法ニ載セテアル所ノ取締役人ト云フコトニ解釋ヲ致シマシテモ少シモ差支ナイコト私ハ信ジテ居リマス、ケレドモ夫レ等ノコトハ或ハ疑ヲ遺スモノデアアル折角ノ法律トシテ出スナラバ少シ委シクアルガ宜シイ即チ疑ノ生ゼヌ様ニ發布スベキモノデアルト云フ御説デゴザイマスレバ無論此理事長及理事ノ名目ニ付テノ御修正デゴザイマスレバ委員ト致シマシテモ私ハ贊成ヲ致シマセウガ、其タメニ再應委員ニ付託スルト云フコトノ必要ハナカラウト考ヘマス、夫レカラ會員組織ノ取引所ハ何ノ部ニ屬スルモノデアアルカ、合名會社デアアルカ、合資會社デアアルカ、若クハ共算商業組合デアアルカト云フ御議論デアリマス、成程是レモ至極尤ナ御質問ト存ジマス、併ナガラ委員ノ考デハ此商法ノ中ニ規定シテ居リマス此名目、合名、合資、株式、共算商業組合ト云フ様ノコトハ是レハ商法ノ當時ノ狀況ニ依ッテ私ニ設ケマシタル所ノ會社若クハ組合ノ標準ヲ設ケタルモノデアッテ、立法者ハ必シモ此名稱及此區域ニ拘泥スルニハ及バナイト信ジテ居リマス、本案取引所ノ法案ノ如キハ即チ今日貴衆兩院ニ於キマシテ立法院ノ設クル所デゴザイマスカラ此法案ニ於キマシテハ強チニ商法内ノ區域ヨリシテ外ニ出ヅルコトハナラヌゾト云フコトハ萬々私ハ信ゼヌノデゴザイマス、社會經濟上ノ進歩、時ノ狀況ト申シマスルモノハ決シテ今日ヨリ千古不易ナモノトハ申サレマセヌ、商法ヲ定メマシタル時ニ既ニ在ル所ノモノガ千歲確乎動カザルモノトハ申サレマセヌ、經濟ノ成立チ進歩ニ伴ッテ特別法ヲ規定セザルヲ得ナイト云フコトハ言ハズシテ分ッテ居リマス、既ニ此商法ナルモノハ此當時ニ編纂シマシタルモノヨリモ社會ノ事情ガ變動シ來ッテ居リマスカラ社會ノ經濟ガ發達シ來ッテ參リマシタナラバ此商法ヲ以テ……此商法ヲ墨守シテ居ル譯ニハ參リマセヌ、今日取引所ナルモノハ……日本ニ今日存シテ居リマス取引所ナルモノモ或ハ日本ニ特別ノ狀況ガアッテ存在シテ居ルカモ知レマセヌ、商法ニ於キマシテハ一般ノ商業上ノタメニ規定シタノデアリマスカラ取引所一箇所ノタメニ設クル譯ニハ往キマセヌ、商法ニ於キマシテハ一般ニ見渡シテ一般ノ利害得失ヲ見テ法規ヲ定メテ往キマスケレドモ、其一部一局ノ事柄ニ於キマシテハ或ハ商法ノ規定ニ外ヅレネバナラヌコトガアルカモ知レマセヌ、此會員組織、此會員組織ト云フモノモ或ハ其部ニ屬シテ居ラヌトモ決シテ申サレヌ譯デアアル、是レガ教科書カ何カデゴザリマ

スレバ成程夫レハ何カノ手本ニ依ッテ一齊ニ標準ノ誤ラヌ様ナコトガ出來マセウケレドモ、元々是レハ活動社會ニ當筋ムルモノデアッテ、其活動社會ト申シマスルモノハ色々ニ形ヲ變ジテ現ハル、モノデアリマスカラ一定ノ標準ヲ以テ推ス譯ニ參ラヌコトガ往々アリマス、會社ノ組織ノ如キモノハ即チ其一ツデアッテ商法中ノ名目ノ中ニ細目區域ヲ掲ゲテ其規定ヲシテアリマスモ此區域此規定ハイツ何時變更セネバナラスカモ知レマセヌ、是レガ特別法ヲ發シテ別ニ其形式ヲ正當ニスル所以デアアル、取引所法案ハ即チ其一ニ居ルト私ハ想像シテ居リマス、デ同ジク立法府ノ發スル所、商法モ立法府ノ發スル所取引所法案モ立法府ノ發スル所、決シテ此一ヲ出シテ其一ニ必ズ據ラネバナラスコト云フコトハ萬々信ゼヌ譯デアリマス、斯様ナ譯合デゴザイマスカラ其委員會ニ於キマシテモ強チニ說ナシニ同意ヲシタコト云フコトハ決シテナイノデゴザイマス、成程委員ノ中ニ於キマシテモ私ハ一向此取引所ノコトニ付テハ不案内ノコトデアリマスシ、元々委員ニ御選ビノ時カラ自ラモ不適當ノコトト思フテ居リマスカラ不注意ノ御咎メハアッテモ仕方ゴザイマセヌ、知ラザルコトヲ其タメニ知ル譯ニ行キマセヌカラ今後委員ニ再付託ト云フ御決議ニナリマスナラハ願ハクハ私ハ御斷リヲシタウゴザイマス、

○村田保君 木下君ニ少々質問致シタウゴザイマスカラ暫ク御止リヲ願ヒマス、木下君ハ此仲立人ト云フコトハ輸入物デ嘗テ本員ト共ニ輸入物ノ名ノアル斯ウ云フコトハ止メタイト云フコトヲ共ニ唱ヘタト述ベラレマシタガ本員ハ仲立人ハ輸入物デアルト云フコトヲ申シタ覺ハナイ、併シ夫レハ兎モ角此商法ト云フモノハ既ニ先刻木下君カラモ段々述ベラレタ如ク政府カラ出マシタ時分ニハ御同様ニ調ベラレマシタコトガアリマシタガ其時分ハ如何デゴザイマシタカ此仲立人ト云フコトハチャント其時分ニ御評議ヲ申シテ殘シタモノデゴザイマス、夫レ故ニ此商法ノ中ニ今日既ニモウ日程ニ上ッテ居リマス商法ノ法文……夫レハ何故ナラバ元ハ本院カラ參ッテ衆議院ニ參リマシテ衆議院モ同意シテ參ッテ居リマス所ノ此商法ノ中ニ仲立人ト云フモノガアル、夫レハ八百條ヲ御覽下サレバ分ル、八百條ニ仲買人仲立人ト二ツゴザイマス、此八百條ニ仲立人ノ手數料仲買人ノ手數料ト云フモノガゴザイマス、是レハ固ヨリ商法ノ中ニ仲立人ト云フモノアレバ仲買人ト云フモノアル、夫レカラ千五百四條ノ方ハ所謂取引所ノ仲立人、夫レガアル、夫レデゴザイマスカラ其事ハ既ニ商法ニチャント極メテアル、夫レハ木下君モ嘗テ御存知デアラウト思ヒマスガ、夫レヲ木下君ハ是レハ現今ノ狀況ニ照シテ衆議院ガ仲立人ヲ仲買人トシタ夫レヲ贊成スルト云フノデアリマスカラ木下君ハ蓋シ兩方ニ御贊成ニナッタコトデアラウト思フ、サウシテ且ツ言ハル、ニ商法ト云フモノハマダ實行シテ居ラス、實行シテ居ラス故ニ之ヲ變ヘテモ宜イ

ト言ハスバカリニ言ハレマシタ、此取引所ハ今既ニ法律ニナル場合ダト言ハレマシタガ本員ハ之ニ反對ノ考デアアル、成程商法ハ實行シテ居ラス、實行シテ居ラスガ商法ト云フモノハ現ニ頒布ニナッテ居ル、夫レニ仲立人仲買人ト云フモノヲ認メテ居リマス、是レハ前ニ定ッテ居ル、所ガ此取引所ハ今是レカラ出ル、今新ニ出レハ今ノ新ナ方ニ據ラナケレバナラス、丁度私ハ木下君ト反對ノ考ヲ持ッテ居ル、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

夫レハ御質問デゴザイマス、

○村田保君 夫レカラ質問致サウト思ヒマス、夫レカラ木下君ハ仲立人ノコトハ商法ニアル商法ニアルカラ變ヘテモ宜イト言ハレマシタガ夫レハドコカラ出マシタカ、元ト商法ニハ仲立人ト云フモノガアリマシタ、夫レカラ理事ノコトハ……理事ノ如キハ解釋上ニ任カシテ置クト云フコトデ、是レハ性質上商法ノ取締役ト違ヒマセヌカラ是レハ變ヘテモ宜イト云フコトデゴザイマシタガ、如何デゴザイマススカ商法ニ取締役ハ斯ウ斯ウ場合ニ罰スルト云フコトガゴザイマスガ、理事ト云フコトデ夫レガ解釋上罰スルトガ出來ルモノデゴザイマセウカ、法律文ト云フモノハサウ云フモノデナイト本員ハ思ヒマスガ夫レハ木下君ニハ出來マス積リデゴザイマス、ドウ云フ理由ヲ以テ出來マスモノデゴザイマセウカ夫レヲ伺ヒタイ、夫レト其會員組織、是レハ其何モ立法者ト云フモノハ斯ウ云フコトニ拘泥スルニ及バヌ、隨分商法ト云フモノノ外ニ一時起ッタコトナラ商法ニ違ッタコトヲシテモ宜イト云フコトデゴザイマスガ夫レハ本員ハ如何デゴザイマセウカ商法ノ二條ト云フモノハドウ云フモノデゴザイマススカ、刑法ト云フモノハ刑事ニ關スル要素ハ總テアルガ色々外ニ其刑事ニ關スルコトヲ掲ゲテ其本ハ刑法ニアルカラ刑法ニ背イタコトハ出來ヌ、又商事モ其通り總テノ商事ハ商法ニアルマモノヲバ商法ト云フモノヲ設ケナガラ外ニ構ハズ狀況ニ任カシテ夫レヨリ別ノモノヲ設ケテモ宜イト云フコトハ出來ルモノデアリマセウカ、夫レ丈ケラ伺ヒマス、

○木下廣次君

長イ御質問兼御説明デゴザリマス様ニ私ハ拜聴致シマシタ

ガ固ヨリ御説ニ私ノ御同意ノ出來ヌ點ヲ御打チニナリマスノハ是レハ如何様トモ御説デゴザイマスカラ宜シウゴザイマスガ私ガ長ク立ッテ居ッテ甚ダ外ノ邪魔ニモナリマスカラ、差シヨリ右ノ仲立人ト云フコトヲ改正シテアル所ノ今日既ニ廻ッテ居リマス所ノ改正案ノ中ニ這入ッテ居ル、即チ是レヨリシテ實施シヤウト云フ所ノモノニ這入ッテ居ルト云フ御説デゴザイマス、成程這入ッテ居リマスケレドモ仲立人仲買人運送人トカ申シマス即チ代辯人ガ仲立人、運送取扱人及仲買人、運送人ト云フ是レ等ノ事柄ハ此商法ノ第八章ノ時ニ議スベキモノデアッテ是レ等ノ名稱ハ如何様ニ變ズルカモ知レスコトデアリマ

スカラシテ此第八章ノ評議ニ是レハ委ヌベキモノデアッテ今一々ニ仲買人ヲ仲立人トシ仲立人ヲ仲買人トシタ是レニハ到底第八章ノ修正ノ時ニ至ッテ此事ハ確定スルカラ何分夫レマデハドウト云フテ著手シ得ベカラザルモノダト云フコトデ一向ニ是レマデノ今日出テ居リマスル所ノ商法ノ中ノ仲立人ト云フコトニ手ハ著ケテナイノデアリマス、私ハ商法ノ改正委員ノ一人トシテ左様ニ心得テ居ッタデアリマスガ今村田君ノ説ヲ拜聴シテ見マスルト即チ會社破産等ノ中デ仲立人ト云フ名稱ガアルカラシテ最早此名稱ハ動かカスベカラザルモノデアリ即チ商法ノ第八章ノ中ニ動かカスベカラザルモノガアルト云フ様ナ御話デゴザイマシテ夫レハ私甚ダ敬服致サスノデアリマス、夫レカラ其他ノ事柄ニナリマシテハ到底村田君ノ説ヲ異ニスル譯デ註釋上ノ事柄デゴザイマスカラシテ私ハ左様ニ註釋致シマスシ村田君ハ餘程嚴格ニ御採リニナル、サウ云フコトデアリマス、是レハ共ニ裁判所ニ居リマシテモ或ハ説ヲ異ニシナケレバナラヌカトモ存ジマス、

○箕作麟祥君 本員ハ村田君ノ説ニ賛成ヲ致シマシテ即チ前ノ特別委員ニ御苦勞ナガラ今一應御付託致シテ修正ヲシテ貫ヒタイト云フコトノ説デアリマス、村田君カラ段々質問ガアリマシテ政府委員ノ御答ガアリマシタ、唯今特別委員ノ一人タル木下君ノ答辯モアリマシタガ其答辯ノコトハ一々申スニモ及ビマセヌケレドモ唯今仲立人ノ答辯ハ随分苦シイ御答辯デアッタ、夫レカラ取締役ト理事ト名稱ノ變ッタコトモ是レモ適用ガ出來ルト云フ趣意デアリマス、是レモ私ハ矢張り苦シイ答辯ト考ヘマス、夫レカラ取引所法ハ特別法デアアルカラ商法ニハ關係ガナクシテモ宜イト云フ御答辯デアリマシタガ是レモドウモ穩ナラヌ御答ト考ヘマス、夫レデ假令關係ノナイ法律ニ致シタ所ガ會員組織ノ取引所ニナリマスト其會員ト云フモノノ間ノ權利義務ハ如何ナルモノデアアルヤ、又此會員カラ第三者ニ對スル權利義務ハ如何ナルモノデアアルカト云フコトハ商法ニ依レバ分リマスガ、商法ニ依ラヌ關係ノナイ法律ニハ是非トモ幾何カ此取引所ノ中ニ規定シテ置カヌケレバ紛争ガ起ツタ時ニ如何トモスルコト能ハザルコトニナリマスと思ヒマス、之ヲ要シマスルノニ甚ダ特別委員諸君ニハ申シニクイ譯デアリマスガ時間ヲ限ラタト云フコトカラシテドウモ思フ様ニ特別委員諸君ノ意思ヲ貫クコトガ出來ナカッテ甚ダ遺憾ト思ヒマス、ト申シマスノハ委員長カラ御廻ハシニナリマシタ速記録ヲ見ルト委員諸君ノ御發議モ澤山アルシ此條ニ付テハ修正ヲシタイコトガアルケレドモヨサウト云フコトガ澤山アル、若シ必ズ意思ヲ貫イテ修正説ト云フモノヲ提出スルコトヲ得シナラバ今日此議場デ起ル様ナ論ハ無クナッテ仕舞ヒ結構ナ修正ガ出來テ居ッタラウト考ヘマス、然ルニ惜イ哉其時間ノ切迫ト云フタメニ修正シタイケレドモヨサウト云フ様ナコトデ終ニシナカッタ、修

正ガ出來ナカッタト云フ様ナコトデ甚ダ今日遺憾千萬ナル有様ニナリマシタ、詰マリ申セバドウモ少シ時間ノタメニ迫ラレテ詮議ガ貫カナカッタト云ハネバナラヌト存ジマス、夫レデアリマスカラ藤村君ノ御説ハ誠ニ公平ノ御演説デ殊ニ能ク分リマシテ敬服致シマシタガ是レハ餘程大修正デアリマスカラ其通りニ修正ガ出來レバ宜シウゴザイマスカ如何デアリマスカ分リマセヌ、サウナレバ無論サウシタイ、縱令夫レガ出來マセヌ所ガ村田君或ハ松岡君カラ段々御論ノアリマシタ所ハ私ハドウモ政府ノ原案並ニ衆議院ノ修正モ不完備、殘念ナガラ委員諸君モソコマデニ十分修正ガ届カナカッタモノト存ジマス、此度ハ時間ヲ制限スルコトハ如何デアリマセウカ存ジマセヌガ再ビ付託トナリマシタナラバ假令時間ハ短クトモ時間ノタメニ制限セラル、故ニヨスト云フコトハナクシテドウゾ御十分ニ御意想ノアル所ハ御述ベニナッテ御協議ノ上デ完全ナル御修正ニナラムコトヲ希望致シマス、村田君ノ御説ニ賛成致シマス、

○渡邊甚吉君 段々委員ニ再付託ノ御説ガ盛ニナッテ參リマシタガ是レハ到底無用ナコトト考ヘマス、私共ハ到底再付託ニナリマシタ所ガ別段ニ良イ考モ出來マセヌノミナラズ現ニ私共ノ特別委員ノ仲間中ニ於テ法律家ヲ以テ任ゼラレテ居リマス所ノ木下君モ唯今辯明致サレタ如クデ是レデ少シモ差支ナイト云フ御論デゴザリマシテ、私共決シテ時日ヲ限ラレタカラ修正ガシタイケレドモガ出來ヌト云フ譯デハナク、全ク是レデ差支ナイト云フ見込デ委員會デハ之ニ賛成ヲ致シタ譯デゴザイマス、相成ルベクハ若シ修正ガ必要ト云フコトノ御意見ノ御方ガアルナラバ立派ニ案ヲ具ヘテ逐條ノ所デ御修正ニナラムコトヲ希望致シマス、若シ再付託ニナリマシタ所ガ到底私共特別委員再ビ此案ニ付テ調査スルコトハ出來マセヌ即チ先刻モ小澤男爵カラ御發言モゴザイマシタガ全ク小澤男爵ト同感即チ小澤男爵ノ説ニ私共ハ賛成致シマス、

○小室信夫君 小澤君ノ説ニ賛成致シマス、
○川田小一郎君 小澤君ニ賛成致シマス、
○馬屋原彰君 本員ハ政府委員ニ質問ヲ致シマス、段々先刻以來商法等ニ付テ御質問ガアリマシタガ私ハ此法案ニ付キマシテ第一條第二條ノ場合ニ於テ手續上ガドウモ不明瞭デゴザイマスシ、此御説明ヲ煩ハス積リデアリマスガ即チ第一條ノ取引所ヲ設立スルコト云フ所ノ願ヲ致シマスルニハ即チ願面ニハ第二條ニアル所ノ即チ地區、其地區ト云フモノモ其營業上其人ガ先ヅ自分ノ見込デ其願書ニ書キ入レマシテサウシテ之ヲ出スノデアリマス、又ハ免許ヲ願フ所ノ願書ヲ出シテ夫レカラ第二條ノ地區ノ場合ハ外ニ手續ヲ以テ農商務大臣ガ之ヲ定メテ出スト云フノデアリマス、其區ノ所ガ此一條二條ノ文面ニ於テ不明瞭デアリマスカラ此點ヲ委シク説明ヲ願フ、尙モウ一條條デア

リマスガ此取引所法ト云フモノガ實施ニナリマシタ上ハ必ズ一條ノ免許ヲ願
ヒ出デマスル所ノ手續上ニ付キマシテハ多クノ出願人ノ中ニハ必ズ之ニ對シ
テ農商務大臣ガ許ストカ許サストカ云フ場合ニナリマシタナラバ行政上ノ必
ズ訴訟ヲ起スニ違ヒハナイ、所デ農商務大臣ハ此土地ノ繁盛ナルト云フコト
ノ實況並ニ其取引ヲ致ス所ノ各種ノ物件ト云フモノニ付キマシテハ此地區デ
ハ之ヲ許スベキモノデアル、此地區デハ許スベカラザルト云フコトノ其各種
ノ物品ノ上ニ付キマシテ其土地ノ繁盛ナルト否トニ付キマシテモドウ云フ所
ニ依ッテ之ヲ調ブルノデアリマセウカ、又ドウ云フ標準ニ依ッテ許スドウ云
フ場合ニハ許サスト云フコトノ一定ノ公平ナル標準ト云フモノガナクテハ協
ハスコトダト考ヘマスルガ、此點ニ付キマシテハ既ニ委員會ニ於キマシテモ
此速記録中ニ段々委員中ノ御問答モアリマス様デアリマスガ、本員ガ之ヲ讀
ミマシテハドウモ政府委員ノ説明ノ上ニ於キマシテハ十分委シク分ラナイ様
デアリマス、デ此邊ハ隨分此取引所法案ノ實施ノ上ニ付キマシテハ餘程困難
ナ場合ガアラウト本員ハ考ヘマスガ、當局者ニ於キマシテハサウデナイ是レ
ハ十分省令ナリ何カ外ノ手續デ以テモ一定ノ標準トナル所ノモノヲ確定シ
テ全國確一ノ標準ニ依ッテ以テ之ヲ施行スルコトガ出來ルト云フ果シテ御見
込ガアリマスカ否ヤ、其邊ヲ委シク御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、

○政府委員(齋藤修一郎君) 唯今馬屋原君ノ第一ノ御質問ニ付キマシテハ
此地區ト申シマスルモノハドウ云フ手續決定ムルカト云フコトニ付キマシテハ
ハ要スルニ是レハ設立發起者其者ガ或ハ東京デ油ノ取引所ヲ立テタイト云フ
商人ガアリマシテ東京行政區域ニ依リマシテ東京市一圓ヲ此取引所ノ地區ト
致シタイト斯ウ云フコトカラ成立チマシテサウシテ當局者責任大臣ハ……併
シ此品川ト云フ様ナ商業ニ聯絡ノアル地ハ東京ト油取引ヲシテ居ル仲買人ガ
アル故ニ之ヲ入レタガ便利ト考ヘマスノデサウシタラ宜カラウト云フ指圖
上ヨリシマシテ夫レ命令ナリ何ナリノ結果トシテ遂ニ農商務大臣ノ命令通リ
定ムルト云フ手續デゴザリマス、夫レカラ第二ノ御質問ニ此賣買取引ノ繁盛
ト云フコトニ付キマシテハ隨分困難ヲ行政官モ感ズルデアラウガ是レ等ハ立
派ニ標準ヲ定ムルコトガ出來ルカト云フ御質問ト聽エマスガ勿論是レ等ノモ
ノハ商業ノ進歩物產ノ増殖又商業地ノ變遷ニ依リマシテ自ラ變更ヲ來スモノ
デアリマセウカラニ、依ッテ必ズ米穀デアッタナラバ三十萬石以上輸出入ヲ
其地ニ產スル仕切ッタナラバ其地ノ米穀ノ取引ハ繁盛デアアルヤ否ヤト云フ
コトハ中ノ規則的ニ畫一ニ之ヲ省令等定ムルコトハドウシテモ實際出來得
ベカラザルコトデアルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ大抵此物產ト申シマ
スモノハ統計上ノ調査ニ依リマス今日ハ大體ノ數位デ申シマスレバ米ハ四
千萬石穫レル、又島根縣ノ島根米ト麵麥ノ產出スルコトハ三百萬石モアリ、

夫レカラ丹後縮緬ハ一千萬圓ナリ若クハ一千二百萬圓ナリト云フ様ナコト
デ、本邦ノ物產上ニ付キマシテ是レ等ノモノハ重要ノ產物デアアル、又此產物
中石炭ハ東京デハ寡額ニシテ日々ノ消費シカナイカラ即チ十萬カ二十萬シカ
ナイガ却ッテ福岡ノ若松ニハ百萬以上ノ產出スルト云フ事柄ナドハドウシテ
モ場所所ニ依ッテ起ッテ參リマス、之ヲ要シマスルニ本邦全般ノ商業上ヲ
觀察シ又各地ノ商業上ノ實況ヲ觀察致シマシタナラバ必ズ決シテ標準ヲ立
テラレス所デハナイ、十分行政上ノ處分ヲ施スニ堪ヘルコトヲ得ラレヤウト
云フ見込デゴザリマス、夫レカラ行政裁判所ノ御質問ニ對シマシテハ御意見
ヲ御陳述ニナッタコトカノ様ニ承リマス、是レハ御案内ノコトデアリマスガ
ラ是レハ御答ヘヲ致シマセヌ、之ヲ以テ御答ヘト致シマス、

○松岡康毅君 本員ハ此取引所法案ト云フモノハ精神ナリ又總テノ組立方
ナリ餘程取引所ト云フモノト背馳シタモノデアアル様ニ考ヘマス、所ガ先刻カ
ラ段々村田君藤村君其他御質問モゴザリマシタ、夫レカラ政府委員並ニ特別
委員ノ答辯トモ合セテ承リマシタ所ガ到底ドウモ分リニクイ法案ニ違ヒナ
イ、依ッテドウ致シマシテモ外ニ途ハゴザリマセヌカラ村田君ノ委員ニ再付
託ト云フ說ニ贊成致シマス、且ツ殊ニ注意セラレマシタノハ箕作君カラ斯様
ナル法律案ヲ短日日時ヲ切ッテシタイト云フ所ハ即チ此今日ノ不名譽ヲ招イ
タ所ノ原因ニナリマシタト云フコトハ至極同感デゴザリマスカラ期限ヲ切リ
マセズシテ前ノ此委員ニ付託ニナリマスコトヲ希望致シマス、即チ村田君ノ
說ニ贊成致シマス、

○宮本小一君 モウ大分……決ヲ採ラレマス場合デゴザリマセウガ前ノ委
員ニ再ビ付託スルト云フ說ト外ノ委員ニ付託スルト云フ說ト二ツニ分ッテ
居ル様デゴザリマスガ、夫レニ付テ或ハ贊成ヲナサル方モ不贊成ヲナサル方
モアラウト思ヒマスカラ先ヅ唯委員ニ付託スルヤ否ヤト云フコト丈ケノ決ヲ
御採リヲ願ヒタイト思ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀重親君) サウ云フ決ハ採レマセヌ、決シテ外ノ委員ニ
付託スルト云フ說ハ出テ居リマセヌ、同一委員ニ付託スルト云フ說丈ケデア
リマス、

○侯爵中御門經明君 唯今チヨット缺席致シマシテ缺席中ノ議論ハ存ジマ
セヌガ本員ハ此取引所法案ハ再修正ヲ……審査ヲ要スルト云フコトハ段々村
田君始ノ說ニ最モ贊成ヲ致スノデアリマス、唯此議院法ノ……貴族院規則ノ
第四十九條ニ更ニ其事件ヲ同一委員ニ付託スルト云フコトト此又委員ヲ改選
シテ之ニ付託スルト云フ二ツニ分ッテ居リマスガ、今伺ヒマスル所デハ同一委
員ニ付託スルト云フ様ニ承リマシタ、然ルニ小澤君ハ午前ニ於テノ御說モア
リマシタ、前ノ委員ニ於テハ段々辭退ヲサレテ居ルコトデアリマス、今日ノ

經過カラ見マスルト之ヲ改選スルト申シマスレバ甚ダ前委員ノ名譽ニ關スルカハ存ジマセヌガ實ハ同一委員ニ付シタラ餘程迷惑スルデアラウト云フ私ノ親切上カラドウカ此委員ハ四十九條ノ末項ニ依リマシテ改選スルト云フコトノ動議ヲ提出致シマス、ドウカ委員ニ再付託スルト云フコトハ固ヨリ村田君ノ說ニ賛成致シマスガ唯同一委員ニ付託スルト云フコトハ……反對ト申スト少シク嫌ヒガアリマスガ却テ前ノ委員ガ迷惑スル御氣ノ毒デヤト云フ考カラ改選致スコトヲ希望致シマス、

○木下廣次君 私ハ其說ニ賛成、

○子爵谷干城君 中御門侯爵ニ賛成、

○宮本小一君 私ノ唯今申シマシタ心持ト云フモノハ中御門君ト同様デアリマス、甚ダ諸君ニ對シテハ何デゴザリマスガ矢張りアノ說ノ様ニ……

○子爵新莊直陳君 賛成、

○子爵松平信正君 本員モ中御門侯爵ニ賛成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發言モゴザリマセネバ決ヲ採リマス、再ビ委員ニ付託スルト云フ說ニ就テハ同一委員ニ付託スルト云フ說ト改選シテ更ニ付託スルト云フ動議ガ出テ居リマス、同一委員ニ付託スルト云フ村田君ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザリマス、中御門侯爵ノ改選シテ委員ニ再付託スルト云フ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數ト認メマス、

(此時「多數多數」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス、

(氏名點呼ヲ行フ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數百十八、可トスル議員六十四、否トスル議員五十四、依ッテ再付託ニ決シマス、即チ委員ヲ改選シテ再付託スルト云フコトニ決シマス、

○侯爵中御門經明君 委員改選ト云フコトニ決シマシタ以上ハ委員ノ選ビ方ハ各部ニ於テ選ブコトニ致シタイト思ヒマス、其動議ヲ……

○子爵小笠原壽長君 本員ハ此委員ハ議長ニ御委託ヲ申スト云フ動議ヲ提出致シマス、

○伯爵小笠原忠忱君 中御門侯爵ニ賛成致シマス、

○男爵小澤武雄君 本員ハ小笠原子爵ニ賛成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 各部ニ委託ト議長ニ委託ト兩方動議ガ出テ居

リマス、中御門侯爵ノ各部ニ於テ選舉スルト云フ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザイマス、小笠原子爵ノ議長ニ委託スルト云フ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ議事日程第二、商

法及商法施行條例中改正並施行法律案、政府提出衆議院回付、會議ヲ開キマス、此會議ハ通常ノ會議ト聊カ違フデアリマス、既ニ此法律案ハ本院ニ於テ決シマシテ衆議院ヘ回付シマシテ衆議院ニ於テ尙ホ修正ヲ加ヘテ本院ヘ回ッテ來タ案デゴザイマス、依ッテ此會議ハ衆議院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤト云フコトノ會議デアリマスノデ、即チ同意ヲ致シマスレバ夫レニ決シマスルシ、若シ一箇條デモ修正スルト云フコトニナリマスレバ兩院協議會ヲ開カネバナラヌト云フコトニナルノデス、即チ其同意不同意ノ間ノ決議ヲ致ス所ノ會議ト御承知ヲ請ヒマス、

○渡正元君

此商法及商法施行條例中改正並施行法律案ハ曩ニ本院ニ於テ議定シタ所ノ法案ニ對シテ衆議院ニ於テ多少ノ増減修正ヲシタモノデアリマス、其修正中ノ條項ニ於テハ或ハ其關係ノ少カラヌモノモアラウト考ヘマス、故ニ此儘之ヲ會議討論スルトキニハ或ハ其論說多岐ニ涉ッテ混雜、議事ヲ延滯スルノ恐ガアルカト考ヘマス、依ッテ此際更ニ特別審査委員九名ヲ選定シテ一旦之ニ審議ヲ委託スルト云フコトニ致シマシテ、其報告ヲ俟ッテ然ル後ニ此議事ヲ開キマシタナラバ議事ノ經過モ或ハ速ニ抄取ルデアラウト考ヘマス、依ッテ唯今此特別委員九名ヲ選定シテ之ニ一旦審査セシムルト云フコトニ致シタイ、而シテ其特別委員ハ議長ニ選舉ヲ委託致シタイ、且又此議會ノ日子モ既ニ切迫シテ居ルコトデゴザイマスニ依ッテ成ルベク此審査ハ速ナラムコトヲ望ムノ故ニ此審査ノ委員ニ於テ明二十二日中ニ審査報告スルト云フコトニ致シタイ、勿論此期限內ト雖モ審査ノ終リ次第速ニスルト云フコトハ妨ゲナイ、ノミナラズ希望スルコトデアリマス、依ッテ更ニ審査委員九名ヲ選定シテ一旦之ヲ付託調査スルト云フコトニ致シタイ、此動議ヲ……

○村田保君 本員ハ全ク唯今渡君ノ述ベラレマシタ通り同一ノ考ヲ持ッテ居リマシタ、全ク賛成ヲ致シマス、

○箕作麟祥君 本員モ渡君ヲ賛成致シマス、大抵渡君ノ述ベラレタノデ滿場諸君ニ貫徹致シテ居ルトハ思ヒマスガ少々本員ハ補足ヲ致シテ置キマス、固ヨリ渡君ノ言ハレタ通り此議場デ一々議シマシテハ甚ダ錯雜ヲ致シタメ

ニ議事ノ妨ゲニナルノミナラズ御承知ノ通り初メ政府デ明治二十三年ニ發布
ニナリマシタ商法ノ中カラ會社法、破産法、手形法ヲ引拔イテ此度本院へ提
出ニナリマシタ、其提出ニナリマシタ體裁ヲ以テ見マスルト其商法ノ本文其
物ニハ修正ガ加ヘテアリマセヌ、即チ別冊ト云フモノガ出來テ居リマシテ、例
ヘバ商法ノ何條ノ中ノ何項ヲ削ルトカ或ハ何條ノドコニ何ヲ加ヘルトカ云フ
案ガ參ッテ居ッテ、夫レニ持ッテ往ッテ貴族院ノ特別委員ガ又何條ヲ何ト改
メ何ト云フ字ヲ削ルト云フ様ニ修正ニナリマシタ、所デ夫レヲ衆議院ニ廻ハ
シマシタ所ガ衆議院ノ修正ト云フモノハ何行目ノ何ト云フ字ヲドウスルトカ
云フコトデ誠ニ詰マリ此商法第一條カラ一々第何條ト云フ條ニ當テテ見
マスルト修正シタ箇所ヲ見出スコトサヘモ容易ナコトデハナイ、誠ニ商法ノ
正條ニ當リマシテ其修正ノ箇條ヲ一々書加ヘヤウトシテモ容易クナイト云フ
位錯雜シテ居リマス、勿論綿密ニ何行目ノ何ト一々調べマシタラ分ラヌコト
ハアリマスマイガ、チヨット見出シニクイ、奈何セムサウ云フ譯デアリマス
カラ其衆議院デ修正ニナリマシタ所ガ固ヨリ適當ナラ同意スベキモノ、又不
適當ナラバ不同意デアリマスガ、併ナガラ其同意スベキカ不同意デアルカト
云フコトヲ極メルコトニ致シマシテモ中ニ夫レヲ決スルコトガムツカシイ、
縦ヒ同意スルニ致シタ所ガ所謂旨滅法界ニ同意スルコトハ甚ダ宜シクゴザイ
マスマイカラ、即チ唯今渡君ノ發議ノ通り特別委員ヲ設ケテ其特別委員ハ尙
ホ政府委員トモ打合せノ上デ衆議院ノ修正ハ是レニテ理由ハ是レニト云フコ
トヲ夫レヲ特別委員カラ當議場ニ報告ニナリマシタナラバ諸君ニ於テモ此度
ノ衆議院ノ修正ハ斯クデ其理由ハ斯クデアルカラ同意スベキモノデ
アルトカ、又ハ夫レデハ不同意デアルト云フコトガ分リマシタ上デ御決定ガ
出來ルコトト考ヘマスカラ、ドウゾ唯今ノ九名ノ特別委員ヲ議長ノ選定ニ任
シテ其特別委員ハ明日中ニスッバリ審査ヲナシ了ルト云フ說ニ御同意ヲ請ヒ
マス、

○藤村紫明君 私モ渡君ニ御同意デアリマスルガ唯委員ノ選舉ノ仕方ハ別
ニ考ガアリマス、此委員ハ別ニ選舉スルニ及バズ前ノ特別委員ニ付託スルノ
ガ甚ダ便利デアルト考ヘマス、此動議ヲ提出致シマス、

○渡正元君 唯今藤村君ヨリ此委員ハ前委員ヘ付託シタイト云フ御說ガ出
マシタガ、未ダ賛成ハアリマセヌケレドモ其藤村君ノ意見ニ付テ一言致シ
テ置キマスガ前委員ハ十五名デアリマス、夫レデ隨分此法案ノ如キハ關係ノ
大ナルモノデアアルニ依ッテ多數ノ人が集ッテ調査スルト云フコトハ至極宜イ
コトデアリマス、ナレドモ此會期切迫、議案モ追々澤山ニナッテ居ル今日デ
アリマス、此上十五名之ガタメニ退クト多少議場ノ人員ニモ差闕ヲ生ジマス
ノミナラズ此衆議院ノ修正案ニ對シテ之ヲ調査スルト云フコト丈ケニハ十五

名ハ必要デアアルマイト存ゼラレマスカラシテ本員ハ先刻更ニ九名ト云フコト
ヲ求メタノデアリマス、而シテ其選定ハ成ル丈ケ簡便神速ヲ望ムガ故ニ議長
ニ委託シテ速ニ其委員ヲ選バレタイト云フコトヲ申シマシタノデ、一言御參
考迄ニ……

○男爵伊達宗敦君

渡君ニ賛成、

○子爵谷干城君

渡君ノ說ニ賛成致シマス、

○男爵小松行正君

前委員ニ付託スルコトハ本員モ藤村君ト御同感デゴザ
イマスルガ、併シ前委員ニ付託スルト云フコトハ動議ニハナリマセヌカト思
ヒマス、モウ既に前委員ガ修正ヲシテ當議場ニ出マシテ三讀會ヲ經テ衆議院
ヘ回ハシタモノガ又衆議院カラ回付ニナリマシタノデゴザイマスカラ、議長
ノ御指名デ……前ノ委員ヲ御指名ニナルハ是レハ差支ハゴザイマスマイガ前
ノ委員ニ付託スルト云フハ動議ニハナリマスマイカト思ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 決ヲ採リマス、渡君ヨリ本案ヲ一應委員ニ付
託スル、其委員ノ數ハ九名ニ致シ本席ニ於テ選定ヲスルコトニ致シタイ、且
ツ審査期限ハ明二十二中ト云フコトニ致シタイ、是レ丈ケノ動議デゴザイ
マス、渡君ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

○侯爵中御門經明君

其次ノ日程ガマダゴザイマスルガ、先刻議定ニナリ
マシタ改選ノコトモゴザイマス、又唯今ノ委員モ議長ニ御委任ヲシタコトデ
ゴザイマス、モウ日子モゴザイマセヌカラドウカ唯今ノ處デ委員ノ選舉ヲナ
サレテ先キニ御報告ニナルコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 夫レハ後トデ致シマス、議事日程第三、登記
法改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

〔侯爵中御門經明君演壇ニ登ル〕

○侯爵中御門經明君 登記法改正法律案ニ付キマシテ委員會ノ經過及其結
果ヲ御報告ニ及ビマス、委員會ニ於キマシテハ本案ハ否決スベキモノト云フ
コトニ大多數ヲ以テ議決致シマシタノデゴザイマス、抑、此登記法改正案即
チ地所建物船舶ノ登記法ヲ改正シマスル所ノ此改正案ノ必要ノ眼目ト云フモ
ノハ現今ノ登記法ニ依リマシテ裁判所ニ於テ取扱ッテ居リマス所ノ登記事務
ヲバ市區町村役場ヘ移スト云フコトガ大眼目ニナッテ居ルノデゴザイマス、
此市區町村役場ニ移サヌケレバナラヌト云フノ理由ハ、現今ノ如ク裁判所及
裁判所ノ出張所ニ於テ登記事務ヲ取扱ッテ居リマスルト其取扱ヒマスル箇所
ガ甚ダ少イノデ、其管轄ガ廣ウシテ人民ノ不便ガ甚ダ少カラヌト云フ趣意カ

ラシテ此登記事務ヲバ市區町村ニ移セバ市區町村ノ管轄區域ガ極狹イデ人民ノ不便ハ無クナルト云フノ點カラ此改正ヲ要スルト云フ様ニ聞エルノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於キマシテハ右ノ不便ヨリシテ之ヲ市區町村役場ニ移スト云フノ說ハ一切採用スルコトガ出來ナイト云フノデ終ニ此案ハ否決スルコトニナリマシタノデゴザイマス、其理由ハ元來登記ノ眼目ト致シマスル所ハ不動産ノ所有權ヲ鞏固ニ致シマシテ權利ノ擔保ヲ確實ニシテ契約者ノ保護ヲスルト云フコトガ目的デアアルノデアリマス、然ルニ若シ此確實ト云フコトヲ失ヒマスル様ナコトニナリマシタラバ此登記法ト云フ法律ガアリマシテモ丸デ無イノト同様デ所謂徒法ニ屬シテ仕舞フト云フ者ガアル、故ニ第一ニ此確實ト云フモノヲ保チマシテ人民ノ信用ヲ厚ウスルト云フコトガ實ニ此登記法ニ於テハ大眼目デアアルノデ、又サラバト申シテ今日改正ヲ希望スル所ノ人民ノ不便ハ一切顧ミナイカト言ヘバ決シテ左様デハナイノデ、尤モ人民ノ便利ト云フコトモ十分ニ圖ラナクハ是レ又折角ノ法律モ徒法ニ屬スル様ナ憂ガアルノデゴザイマス、併ナガラ單ニ便利ト云フコトノミヲ先キニ致シマシテ確實ト云フコトヲ後ニシテ此法律ヲ立テルト云フコトハ決シテ出來ナイノデ、確實ト云フコトヲ大眼目ニ致シマシテ之ニ伴フニ便利ナルモノヲクツケテ往カナケレバナラス、即チ其著眼ノ仕所ガ大イニ此改正案トハ反對致シテ居ル所デ、御承知ノ通り明治六年頃ニ地所建物質入書入規則ト云フモノガ出來マシテ其以來戸長役場ニ於キマシテ公證ヲ取扱ッテ居ッタ、即チ唯今申ス矢張り登記ト同ジモノデアリマスガ此公證ヲ戸長役場ニ於テ取扱ッテ居リマシタ時ノ有様ハ如何デアアルカヲ考ヘテ見マスルノニ、段々戸長役場ノ取扱ガ不確實ニナリマシテ此公證ノ偽造ト云フモノガ追々ニ殖エテ參リマシテ終ニハ戸長或ハ筆生等ノ二重公證若クハ公證偽造等ノタメニ戸長及筆生等ノ犯罪人ガ澤山出來タノデアリマス、此公證偽造若クハ二重抵當ト云フ様ナコトニ付キマシテ此犯罪ト云フモノガ一年ニ増加シテ參リマシテ明治十八九年ノ頃ニ至リマシテハ一箇年ニ三百件以上ニモ其犯罪ノ數ガ殖エテ參ッタト云フ有様デアッタノデゴザイマス、故ニ明治十八九年頃ニ至リマシテハ地所建物ノ公證ヲ受ケルノハ甚ダ受ケル者ノ信用ガ無クナッテ仕舞ヒマシタ、無駄ナ手數ヲシテ公證ヲ受ケルヨリモ受ケナイデモ信用貸ヲシタ方ガマダ増シテ勢ニナッテ居ッタノデアリマス、然ルニ明治二十年ニ至リマシテ現行ノ登記法ガ發布ニナリマシテ爾來區裁判所ニ於キマシテ現行ノ如ク登記ヲ取扱フト云フコトニナリマシテ始メテ從前ノ公證ニ對シマシテ人民ノ信用ヲ失ッテ居ッタ所ヲ大イニ恢復ヲ致シマシテ、近年ニ至リマシテハ大イニ此登記ヲ人民ガ委頼スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、隨ッテ前ニ申シマシタル如ク明治十八九年ノ頃ニハ一箇年ニ此公證ニ付キマシテ公證偽

造ニ付テノ犯罪人ガ三百人以上モアッタノデゴザイマスルガ、此戸長及筆生等ノ犯罪人ノ多カッタコトニ比シテ見マスルト云フト登記法改正……登記法實施以來今日マデ登記ニ關シマスル所ノ犯罪者ト云フモノハ僅ニ七人シカナイト申スコトデゴザイマス、之ヲ以テ見マシテモ今日ノ登記ノ確實ニシテ從前戸長役場ニ於テ取扱ッテ居ッタ所ノ公證ノ甚ダ不確實デアッテ信用ガナカッタト云フコトハ十分證スルニ足ルデアラウト思ヒマス、然ルニ此改正法案ニ依リマスルト二十年ノ此登記法發布以前ノ戸長役場ハ復タ登記事務ヲ復舊ヲスルト云フコトニ止マルノデアリマス、左様ニナリマスルト云フト又明治二十年以前ノ如ク實ニ此登記ト云フモノハ甚ダ確實ナルコトヲ失ッテ從前戸長役場ニ於テ取扱ッテ居ッタ如キ有様ニナリハシマイカト云フ心配ガアルノデゴザイマス、尤モ當今ノ市區町村長ハ明治六年頃ノ戸長ト比ベテ見マシタラバ大イニ其趣ヲ異ニ致シテ居リマスルデゴザイマセウ、殊ニ今日公選ノ市町村長デアリマスレバ或ハ從前ノ官選戸長ニ比ベマシタラバ自治ノ政務ヲ處理スルニハ相當ノ學識材能アル者ガ多イカモ知レマセウ、併ナガラ此登記事務ト云フモノハ一ノ專門ノ事務ト云ハヌケレバナラス、故ニ如何ニ自治體ノ政務ニ明ルイカヲ申シマシテモ此一ノ專門ナル登記事務ヲ公選ノ戸長若クハ筆生等ニ取扱ハセマスルノハ如何ニモ不十分ナルコトデアラウト云フ者ナノデゴザイマス、又一ツニハ自治ノ政務ガ追々發達致シマスルニ隨ヒマシテハ町村役場ノ行政事務ト云フモノモ隨ッテ頻繁ニナルハ勿論ノコトデアアル、又人文ノ進步ニ伴ヒマシテ此登記事務ト云フモノモ亦一層發達シテ頻繁ニナラウト考ヘマス、然ルニ是レ等ノ事務ヲ市町村長ニ任セルト云フコトニナリマシタナレバ益々不十分ナルコトニ立到ラウカト云フ憂ガアルノデゴザイマス、若シ取扱上不十分ト云フコトニナリマスルト云フト前ニ申シマスル如キ登記ノ眼目ト致シマスル確實ト云フコトヲ失フコトニナラウト思フノデ、殊ニ唯今デモ極田舎ノ町村ニ參リマスルト既ニ今日デハ自治體トハナッテ居リマスケレドモ自治體トナリマシタガタメニ從前ノ官選戸長ノ時分ニ比ベテ見マスルト其役場ノ帳簿其他ノ整頓ハ勿論ノコト今日ニ取扱フ所ノ事務ト云フモノニ至ッテモ極田舎ニナリマスルト甚ダ不整頓デ隨分錯雜シテ居ル所ガアルト云フ話モ往々アルノデゴザイマス、左様ナ所ヘ此登記事務ヲ移スト云フコトハ實ニ以テノ外ノ事デアルト云フノ考デアリマス、デ此自治體ノ政務ヲ取扱フニ足ルベキ學識材能ノアル人デアラレバ此登記事務位ハ片手ニチヨイト日々ニ行ッテ往ッタラ何デモナイコトデアラウト思フ者ガ或ハアルカモ知レマセウ、隨分此登記事務ト云フモノハ一ツノ專門デチヨット簿記法ヲ學ブト云フ程ニ大層デアリマセウガ先ヅ簿記法ヲ學ブト云フ程ノ一ツノ專門ニナッテ居ルノデアリマス、今日現ニ裁判所デ取扱ッテ居リマスル所ノ登記

事務掛ト云フモノ夫々相當ノ練習ヲ致シマシテ稍ト夫々熟達シタ者ヲ用ヒテ居ルト云フ譯デアリマシテ裁判所ノ何デモナイ雇ナドニサセテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス、右様ナ譯デアリマスルカラ之ヲ今町村役場ニ移シマシテ甚ダ其事務ニ不熟練ナル人ニ之ヲ任セルト云フコトニナリマシタナラバ決シテ十分ナル確實ト云フコトヲ保ツコトハ出來得マイト云フ考デアリマス、故ニ此改正法案ノ第二條以下ニ於キシテ登記事務ハ市區町村役場ニ移スト云フコトノ此改正案ニハ全ク委員會ハ大不同意デ遂ニ之ヲ此本案ヲ否決スルト云フコトニナリマシタノデアリマス、尙ホ此法案中ニゴザリマスルコトニ付テ述ベテ置キマスルガ本案ノ第四條ニ本法ノ登記ハ區裁判所之ヲ監督スベシト云フコトガアリマスル、此條ガゴザリマスル以上ハ縱令其事務ヲ市區町村ニ移シテ裁判所ガ之ヲ監督スルニ於テ決シテ市區町村ノ扱フ所ノ事務ニ不都合ハアルマイト斯ウ云フ御考ノ御方ガ或ハナイトモ考ヘラレナイ、之ニ付キマシテモ段々議論モゴザリマシタガ此第四條ノ法文ハ全ク徒法ニ屬スベキモノデ決シテ其實ノ行ハレヌモノデアルト云フコトデゴザリマス、何トナレバ市區町村役場ト裁判所トハ九デ關係ノナイモノデゴザリマシテ區區長ガ町村長ヲ監督スルト云フコトハ九デ違ッテ居ルデアリマス、其區區長ト町村長トハ全ク一ツノモノデアリマシテ是レハ當然十分ナル監督ガ出來ルデアリマセウ、其十分又出來ヌケレバナラス、ナラス町村長デスラ此自治體トナリマシタ以上ハ此區區長ハ十分ノ監督ガ出來ナイト云フ有様ニ立到ッテ居ルサウデゴザリマス、況ヤ毫モ緣故ノナイ區裁判所ガ市區町村ニ於テ取扱フ所ノ登記事務ヲ監督スルト云フコトハ是レハ實ニ名アツテ實ノナイモノデアアル、併シ此第五條ニ第四條ノ監督事務ヲ執行サセルガタメニ市區町村長ハ毎月登記簿ノ謄本ヲ造ッテ前月分ヲ其翌月ノ十五日マデニ管轄區裁判所ニ送ルト云フ明文ガアル、斯ノ如クスレバ此監督モ行ハレルデアラウト云フ尙ホ考モアラウカト考ヘマスルケレドモ是レモ實ニ無用ノ法ト言ハヌケレバナラス、何トナレバ既ニ前月ニ取扱ッテ仕舞ヒマシタ事務ヲバ翌月ノ十五日後ニ監督署ニ出シマシテ若シ監督官ガ之ヲ見テ間違ガアツタト云フタ所ガ何ノ役ニモ立タヌ俗ニ申スト後ト祭デ之ヲ回復スルト云フコトハ容易ニ出來ヌコトデアリマス、故ニ到底此四條五條ノ明文ガアリマシテモ是レハ總テ徒法ニ屬シテ何ニモナラヌコトデ監督モ出來ナイ、事務ヲ確實ニ扱フコトハ決シテ出來ナイデアラウト云フ考デアリマス、又最モ改正ノ必要トスル所ハ人民ノ不便ト云フコトガ眼目ニナッテ居リマスガ此不便ト云フコトニ付キマシテハ尤モ區裁判所及其出張所ノ數ガ少イタメ自然其管轄ガ廣ウゴザイマスカラ人民ノ今日ニ於テ不便ヲ唱フルト云フコトハ至極尤ナコトデアルト云フコトハ既ニ當局者モ十分承知致サレマシテ曾テヨリ此事ハ區裁判所長並地方廳ニ訓令シテ十分ナ取

調ヲサセ追々是レ位増セバ今日ノ不便モ救ヘルト云フコトニ付テ申立モアリマスサウデ、タメニ本年ノ司法省ノ豫算中ニハ全國ニ登記取扱所ヲ二百七十箇所モ増設スルト云フコトニ付テ既ニ豫算ニハ夫レ丈ケノ費用ヲ見積ッテ提出ニナッテ居ルサウデゴザイマス、尤モ中ニ是レデ十分ト云フコトデハ決シテ無イノデ、全ク今日人民ノ唱ヘマスル所ノ不便ヲ十分ニ救済シマスルニハ幾下千以上モ是レヨリ増サナケレバナラスト云フ譯デアリマスルケレドモ一時ニ之ヲ増スト云フコトハ決シテ經費ノ許サヌ所デ、當局者モ已ムラ得ズ今年ハ二百七十四箇所ノ増設スルト云フコトデ此豫算ヲ立テテ請求ニナッテ居ルト云フコトデゴザイマス、且ツ唯不便ト云フモノハ管轄ノ廣イバカリガ不便デ無イ、裁判所ニ於テ取扱フ所ノ體裁ハ全ク役人ノ體裁デ退廳ノ刻限ガ來ルト、アシタ來イト云ッテ十里モ八里モノ所カラ來タ者ヲ空シク還スト云フ是レ等モ不便ヲ唱ヘルノ一デアルト云フコトデアアルガ、當局者ハ是レマデトモ十分注意シテ居ルナレドモ尙ホ一層注意ヲシテ人民ニ不便ヲ感ゼシメナイ丈ケノ監督スルト云フコトデアアツテ見マスルト當登記法案ノ改正ハ今日決シテ必要デ無カラウト云フ考デ終ニ委員會ニ於キマシテハ總テ是レハ否決ト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、尙ホ此改正案ノ第五十條ヲ見マスルト市區役所町村役場一箇所ニ付テ一箇年金二十五圓ヅ、又市區役所町村役場ニ於テ取扱ヒタル件數一件ニ付テ金十錢、是レ丈ケノモノヲ年々下付スルト云フコトニナッテ居リマスルガ、唯今市區町村役場ト云フモノハ合計一萬二千六百八十四箇所ゴザイマス、此一萬二千六百八十四箇所ニ一箇所ニ付テ二十五圓ヅ、下ルト云フコトニナリマスルト其總額ガ合計三十一萬七千七百圓ト云フ多額ニナリマス、又登記件數一件ニ付テ十錢ヅ、下付スルト云フコトデアリマスルガ二十四年中ノ登記件數ハ四百十六萬五千三件デアルト云フコトデゴザイマス、二十五年中ハ是レヨリハ増シテ居ルダラウト云フコトデ、未ダ十分ノ取調ハ付テハ居リマセヌガ増シテ居ルト云フコトデアリマス、此四百十六萬五千三件ノ件數ヲ一件ニ付キマシテ十錢ヅ、ノ割ヲ以テ積算致シマスルト其總額ガ四十一萬六千五百圓三十錢ト云フ多額ニナリマスル、二十五圓ヅ、下渡ス所ノ金ト一件ニ付テ十錢ヅ、下渡ス所ノ金ト二タ口合算致シマスルト云フト七十三萬三千六百圓餘ニナリマス、尙ホ前ニ述ベマシタ所ノ改正法案ノ第五條ニ據リマシテ市區町村役場カラ登記ノ謄本ヲ毎月監督裁判所ニ送りマスル所ノ入費モ是レモ中ニ少數ナコトデハゴザイマセヌ、幾ト十三萬圓モ掛カルノデアリマス、夫レト唯今ノ二タ口ト合セマスルト八十六萬七千餘ノ金額ニナルノデアリマス、此改正案ノ通りニシマシテ登記事務ヲ市區町村役場ニ於テ取扱フコトニナリマスルト云フト丁度九十萬圓餘ノ金ガ要ルコトニナルノデアリマス、唯今現行ノ登記法ニ據ルト裁判所ニ

於テ扱フ所ノ金額ハ五十萬圓餘リコソデアリマス、前述ベシタ如ク本年
度ニ於キマシテ二百七十四箇所ノ増設ヲ致シマシタ所デ矢張り六十萬圓内外
ノ費用ホカ掛カラヌデアリマス、此費用ノ點カラ見マシテモ幾ド三十萬圓
程多クナル勘定デアリマス、若シ此増加シマスル所ノ三十萬圓ノ金ヲ年々
司法部内……司法省ノ定額ニ組込シテマシタナラバ登記事務ト云フモノ
ハ唯今ノ市區町村役場ニ移シマスルヨリ今一層便利ナルコトニ運ブデアラウ
ト考ヘル位ノコトデアリマス、併シ夫レハ別問題ト致シマシテ現ニ今日裁判
所デ取扱ッテ居ル所ノ經費ト此改正ノタメニ要スル經費ト比較シマスルト二
十四五萬圓以上モ違フデアリマス、コン丈ケ費用ヲ増シマシテ不確實ナル
登記ヲ爲サセルト云フコトハ國家ノ上カラ見マシテモ實ニ許スベカラザルモ
ノデアラウト云フ考デアリマス、甚ダ訥辯ニ致シマシテ十分ナル御分リモゴ
ザリマセヌダガ存ジマセヌガ先刻來述ベシタ所ノ此數多ノ事由ニ依リマシ
テ本案登記法改正案ハ決シテ採用スベキモノデ無イト云フ斯ウ云フコトデ委
員會モ最モ多數ヲ以テ否決ニ決シマシタ譯デアリマス、ドウカ満場ノ諸君モ
此否決ノ案ニ御賛成アラムコトヲ希望シマス、

○安場保和君 質問ヲ致シタウゴザイマス、委員長ガ此改正案ニ御不同意
ノ理由ヲ懇々縷々御述ベニナリマシタガ其要點ハ確實ヲ主トシテ便利之ニ伴
フト云フ主眼ニ依ッテ此改正案ハ宜シクナイト云フ御趣意デアルト承リマシ
テゴザリマス、夫レニ付キマシテ一ツ委員會ノ御評議ノ次第ニ付テ御尋ヲ致
シタイノハ確實ト云フコトノ主眼ハ其事務ノ取扱上ノ熟練不熟練ト云フコ
トガ確實不確實ト云フコトニ御認メデアル御趣意デアリマス、又市區町
村役場ニ委託ヲシテハ不確實ト云フコトハ右ノ通りニ事務ニ熟練スル……
殆ド御演說中ニモ專門ノ事業デモアルニ依ッテト云フコトデ御斷リモアリマ
シタガ、要スルニ確實ハ事務ノ熟練ニ在ルト云フコトガ御趣意デアリマ
スカ、又ハ外ニ市區町村ニ任カスルヨリモ當時ノ通りニ致シタ方ガ確實ト云フ
ノ據ガドノ邊ニアリマス、其一條ヲ御尋ネ致シマス、又便利ノ點ニ付キマシ
テハ唯今段々費用ノ點ヨリ却ッテ今日ノ儘ニシテ擴張ヲシタ方ガ宜シイト云
フ御演說ノ様ニ承リマシタガ、町村役場ノ數ト申スハ一萬以上ニ上ツテ居リ
マスガ當時ノ區裁判所ナリ出張所ナリト云フ所ノ數ハ僅々ナモノデアリマス
ガ此上ニ二百幾箇所ヲ増加シテ行ケバ却ッテ……夫レニ又年々司法省ノ定額
ニ付テ増シ加ヲシテ行ケバ却ッテ其方ガ勘定上カラ云フテモ便利デアルト云
フ様ナ御演說ノ様ニ承リマシタガ果シテ左様ナ御見込デアリマス、モウ
一ツ又戸長役場ノ明治五年六年以來ノ公證事務ニ付テノ弊害ヲ御臚列ニナリ
マシタガ、固ヨリ我々其邊ノコトハ飽迄承知ヲ致シテ居リマス、之ニ反シ
テ今日登記所ノ不使ト云フコトヲ全國囂々喋々ト申鳴ラス所ノモノハ果シテ

故ナキ囂々喋々デ決シテ其實ハ左様ナモノデナイト云フ所ノ確實ナル御認メ
ガ著イテ此改正ヲスルヨリモ當時ノ通りニシテ、行ケバ弊害ガ少イト云フ委
員會ニ於テ實際上ト照シ合ハセニナッテ十分ノ御詮索ガ著イタコトデアリマ
スカ其邊ヲ、其三箇條ヲドウゾ委員會ノ御模樣ヲ承リタウゴザイマス、
○侯爵中御門經明君 御答ヘヲ致シマス、此第一ノ御尋ノ確實ト云フコト
ハ事務ノ不熟練ヨリシテ不確實ト云フノデアルカト斯ウ云フ御尋デアッタ様
デアリマス、先刻述ベシタ通り此登記事務ト云フモノハ一ノ專門ニ屬ス
ル位ノモノデアリマス、不熟練ナル者ガ取扱ヒマシタトキニハ十分ナル整
理ガ出來マイト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ或ル場所ニ於キマシテハ其役場
ノ整頓モ十分ニ整ハズ、極田舎ニナルトサウ云フ市町村モアル様ナ風聞モア
ル、事務ノ不熟練ト登記ニ付テノ事務ノ不熟練ハ勿論ノコトデアリマス、其
總テノ整頓方ニ尙ホ十分ナラヌト云フ役場ニ之ヲ任スルト云フコトニナリマ
シタナラバ甚ダ錯雜シテ此登記ト云フ即チ確實ト云フコトヲ失フコトガ出來
ルデアラウト云フコトカラ任セラレナイト云フコトニ委員會デハ決シタ譯デ
アリマス、第二ニハ少シ伺ヒ兼ネマシタガドウヤラ云フノデゴザイマシタネ、

○安場保和君 第二ハ箇所ノ……登記事務ノ箇所ガ一萬何千ト云フ町村役
場ニ對シマスル所ト當時何箇所デアリマス、カ確ト記憶ハ致シマセヌガ當時ノ
區裁判所ナリ出張所ナリノ數ハ僅々ノモノデアッタ既ニ囂々不便ヲ唱ヘル所
デアリマス、夫レニ依ッテ二百何十箇所ト云フモノヲ此節増殖ニナルト云フ
當局者ノ調モアルト云フコトデアリマシタガ、其金ノ入用ト差引シテ却ッテ
其方ガ勘定ハ宜シイ便利ニモナルト云フ御趣意ガ私ニハ分リ兼ネマス、一萬
何千ト云フ戸長役場ト五百トカ七百トカ云フノト比ベテ本ヲ計ラズ末ヲ同フ
シテ勘定ガ九十何萬圓入ルトカ云ハレノハ如何ノ御趣意カト云フノデアリ
マス、

○侯爵中御門經明君 私ガ先刻述ベシタノハ二十萬以上三十萬圓ノ餘計
ナ金ヲ使フヨリモ二百七十箇所程ヲ増シタ方ガ宜シイトハ申サスノデ金ガ殖
エテ參ル……改正案ニ依ルト二十五萬以上三十萬圓程入費ガ増加スルノデア
ル、斯ク入費ヲ増加サセテ迄不確實ナト見込ム所ヘ移スコトハ出來ナイト斯
ウ云フコトデ先刻申シマシタガ申違ヒデアッタラバ斯ウ云フ趣意デアッタノ
デアリマス、第二ハ……

○安場保和君 第三ハ弊害ヲ御舉ゲニナリマシタデスネ、明治六年以來ノ
公證事務ノ起ッテ以來ノ弊害ヲ……夫レト今日ノ區裁判所出張所デ取扱フ所
ノ弊害ト御比較ニナッテ能ク其得失ヲ御比較ニナッテ果シテ以前ノ通り町村役
場ニ任ズレバ斯ノ通りノ弊害ノアルト云フ所ノ詳細ノ御質問ヤ何カノ評議ガ
アリマシタカ、其邊ノ御評議ノアリマシタナラバ其次第ヲ承リタイ、若シ是レ

ガ無カッタラバ夫レニ付テノ御意見ヲ承リタイ、先ヅ御評議ノ有ツタカ無
カッタカ有ツタラバドウ云フ御評議デアッタカ夫レヲ伺ヒタイ、
○侯爵中御門經明君 御答ヘテ致シマスルガ今日ヨリ市町村役場ニ此登記
事務ヲ移シマスルト第一ニ御答ヘ申シタ通りノ譯デ確實ヲ失フノ憂ガアルカ
ラ移サレナイト云フ譯デ、ドレ位ノ弊害ガアル明治六年頃ト今日以後ト此市
町村ニ移シタ時分ニ其弊害ノ比較迄ハ研究致シマセシタ、

○安場保和君 少シ何デスガ町村役場ノ公證事務ヲ取扱フタ以來明治十八
九年ノ頃迄ハ斯ク斯クノ弊ガアツテ既ニ一箇年ニ三百人以上ノ重罪犯モアツタ
ト云フ御話モアツタ様ニゴザイマスルガ、其頃明治五六年頃ノ弊害ト今日衆議
院デ大多數ヲ以テ可決シテ本院ニ送付ニナツタ原案ハ何ニ基イタカト申セバ
即チ各地諸々今日ノ登記事務ノ不便ト其弊害トヲ鳴ラシタ結果、即チ本院ニ
送付ニナルト云フ迄ノ結果ニナリマシタガ、其邊ノ利害ハ御考ヘニナリマシ
タカ、其弊害ノ因ツテ起ル所ハ一向無根ノコトデアルト云フ御認メカ、夫レニ
モ幾分ノ弊害ガアルガ戸長役場ニ任カスルヨリハ當時ノ勢ハ斯ク斯クノ得失
上ノ一方ニスレバ大ナル弊害ガ多イト云フ御認ガアルカニ付テ、マ一應當時
ノ戸長役場ト從前ノ戸長役場トノ比較デハナイ當時ノ登記事務ニ對シテ人民
ノ苦情ヲ言フ所ノ事實ト明治五六年以來ニ在ッタ所ノ比較トヲ取ッテ得失ノ御
研究ガアツタカト云フ要スルニ趣意デアリマス、ソコヲ御辯明ヲ願ヒマス、

○侯爵中御門經明君 是レハ斯様ナ論デゴザイマシタノデ、成程今日ノ市
區町村ニ此事務ヲ移シタナラバ管轄ガ極狭クナリマスカラ人民ノ便利ハ勿論
十分便利デアラウ、併ナガラ前ニ申シマスル如ク確實ヲ失フコトニナツタ
ラバ便利ガ却ツテ不便ニナルト斯ウ云フコトカラシマシテ今日不便ヲ唱ヘル
ト云フコトハ尤モ不便デモアラウ、アラウケレドモガ此登記ノ確實ヲ失フト
云フコトニナル様ナ憂ガアル場合ハ却ツテ便利ヲ圖ツテ不便ヲ來ス憂
ガアルカラ、夫レ故ニドチラガ利益カト云ヘバ少々ノ人民ノ不便ヲ我慢シテ
モ此登記ノ確實ヲ保ツガ即チ社會ノ便利デアルト斯ウ云フ委員會ノ説デゴザ
イマシタ、是レ丈ケテ御答ヘ申シマス、

○水之江浩君 委員長ニチヨット伺ヒマスルガ委員長ノ唯今ノ御説デハ全
ク市町村ニ登記ヲ持タスルト云フコトハ便利ニナルト云フノデ「聴取シ難
シ」私ノ考ヘマスル所デハ不便ノ一邊デハアリマスमित思ヒマス、今日ノ
現行法ニ依リマスルト隨分詐偽ノ出來ルコトガ間、アリマス、此詐偽ヲ防グ
ノ道ハ……

○侯爵中御門經明君 少シ伺ヒ兼ネマスガ……
○水之江浩君 現行法ニ依リマシテ登記ヲシマスレバ詐偽ガ出來マスルコ
トガ間、アリマス、今日登記ノ臺帳ガ隨分不確實ナルコトガ少カラヌ様ニ思

ヒマス、其不確實ナル所ハ全ク詐偽ノ出來ルカラト思ヒマス、詐偽ノ出來ル
途ハ杜ガネバナラヌト思ヒマスガ其邊ハ委員會ニ於テドウ云フ御認メデゴザ
リマスルカ、
○侯爵中御門經明君 詐偽ノ起ル憂ノコトニ付テ議論ガアツタカト云フノ
デアリマスカ、

左様デゴザイマス、

○水之江浩君 御答ヘテ致シマス、尤モ其議論モゴザイマシタ、或ハ
却ツテ詐偽ノ行ハレ易イト云フ様ナコトガアルカト云フノ疑ガ十分ゴザリマ
シタノデ、夫レハナゼト云フト隨分田舎ノ町村ニ參リマスルト印鑑簿ト云フ
ノハ備ツテアリナガラ其印鑑ヲ隨分小使ナドニ頼ンデチヨイト改印ヲ押シテ
置イテ貫ツテ後トカラ印鑑證明ヲ表門カラ持ッテ行ッテ證明ヲ取ッタリスル
ト云フ様ナコトガ現ニ今日隨分アルノデゴザイマス、右様ノ所デ之ヲ取扱ッ
タナラバ或ハ隨分詐偽ノ行ハレヌト云フコトハ言ハレナイ、甚ダ危險デア
ルト云フ様ナ議論ハ十分ニアリマシタ、

○林宗右衛門君 本員ハ委員長ニ二三件御尋ネ致シタイノデアリマス、唯
今御報告ニ依リマスルト云フト不便ヨリ確實ト云フコトヲ注意スルト云フ
所カラシテ御報告ニナツタノデアリマスガ、其確實ニ就キマシテ本員モ一應
御尋ラ致シタイ、抑、現今ノ登記所ニ就キマシテ夫レ人民ヨリ登記ヲ請求シ
マス、然ルニ其登記請求書ハ登記所ニ於キマシテハ何ニ依ッテ確實ヲ認メル
ノデアリマスカ、先刻モ水之江君ヨリ御質問ヲ致シマシタ通り現今ノ登記所
ニハ土地臺帳モナク原規トスルモノハ何ニモナイ、唯人民ノ請求ニ依ッテ其書
類ニ依ッテ登記ヲスルコトナツテ居リマス、尤モ御承知ノ如ク明治二十三年
九月七十八號ニ登記ヲヤルニハ登記法第四十條ノ改正デ戸長ノ證明モ廢セラ
レ印鑑簿ノ證明モ廢セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ何ヲ以テ此登記所ニ
於キマシテハ人民ヨリ申立ガアリマスル所ノ書類ガ是レニ確實デアル、所
謂對照確實トシマスルニハ何ヲ以テシマスルカ、此儀ヲ一遍伺ヒマス、尙ホ
經費ノコトニ付キマシテモ御報告ガアリマシタガ成程此衆議院ノ送付案ノ如
ク致シマスレバ現今ヨリ二十萬圓乃至三十萬圓ハ増加スルデアリマセウ、併
ナガラ現今ノ登記役場ト云フモノハ僅々千二百十八箇所、之ヲ一萬二千有
餘ノ各市町村役場ニ任セマシテ二十萬乃至三十萬圓ノ増加トナルデアリマ
ス、然ラバ其利害得失ヲ御評議ニナリマシタカ、原料トスル所ガ甚ダ本員等
ノ解スルニ苦シム所デアリマス、又此二十萬乃至三十萬圓ノ金ヲバ漸次之
ヲ増費スルト云フノデ……現今ノ平均額ニ依リマス先ヅ一箇所ニ就テ平均
四百圓デアリマス、ソコデ三十萬圓ヲ以テスレバ即チ七十箇所ソコラデ盡キ
テ仕舞ヒマス、此三十萬圓ハ三十萬圓トシテ年々ニ殖エナケレバナラヌ、一時

ニ七十箇所乃至位ノモノヲ置キマスレバ夫レ三十萬圓ハ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 林君、御質問ノ點ヲ簡短ニ御述べニナッテハ如何デス、其方ガ分リ能クアリマセウ、

○林宗右衛門君 ハイ、其邊ノ利害得失ヲ特別委員ノ御調査デハ如何御評議ニナリマシタカ委シク承リタイデアリマス、先ヅ此二點ヲ伺ヒマス、

○侯爵中御門經明君 御答ヘ致シマス、第一ノ御問ハ今日ノ登記所デハ土地臺帳モアリマセヌ、印鑑證明モナシ、何ヲ以テ確實トスルカト云フコトデアリマシテ……夫レハサウ云フ御問デアリマシタネ、

〔林宗右衛門君「左様デゴザリマス」ト述フ〕

成程此事ニ就キマシテモ委員會デ段々論モアリマシタ、夫レデ今日マデ行ッテ來テ居リマスル所ノ實驗上カラ云ヒマスルト、現ニ本人ノ……雙方本人ガ出ルトカ相當ノ代人ガ出ルトカ云フコトデ取扱ッテ來テ今日マデ少シモ夫レデ確實ト云フコトヲ失ツタ證據ハナイノデアリマスガ、併シ往々間違ガナイトハ言ハレヌ、デ土地臺帳ヲ拵ヘ或ハ印鑑簿ヲ拵ヘネバ到底此上一層確實ナルコトヲ十分保ツコトハ出來ヌト云フ議論モ隨分ゴザリマシテ、政府委員ニ向ッテハ或ル委員ヨリ十分申込ニナッタノデゴザリマスガ、政府委員ニ於テモ其事ハ十分經費ノ許ス限リハ取扱ヒ既ニ今日取調ニナッテ居ル所デハ斯ウ云フ今日マデ……弊害ヲ未ダ見出ダサヌト云フコトデアリマス、是レ丈ケデゴザリマス、夫レカラ此第二ノ御問ハ夫レハ少シ私ニハ分リマセヌノデ……

○林宗右衛門君 第二ノ問ハ國費ヲ増シ確實ヲ缺クト云フ……

○侯爵中御門經明君 モウ少シ、何デスカ、

○林宗右衛門君 各戸長役場ヲ置キ殆ド二十萬乃至三十萬ノ金ヲ増加シテ其國費ヲ増スノミナラズ弊害ノ多イ様ナ御報告デアリマス、夫レニ就キマシテ各市町村役場ニ於キマシテナレバ一萬有餘ノモノデアリマスガ現今ノ登記役場デアレバ千二百ヲ殆ド十分ノ一デアリマス、所デ金額ニ割リ當テマシテ利害得失ト云フ所ガ甚ダ本員等ハ解サヌ所デアリマス、既ニ十層倍ニシテモ金額ハ僅々二十萬カ三十萬デアリマス、夫レ等ノ得失ヲ尙ホ一回御尋シマスルデアリマス、

○侯爵中御門經明君 御答ヘ致シマス、先刻私ガ述べマシタ通りデ年々經費ハ二十萬圓以上三十萬圓モ増シテ斯様ナ不確實ナル所ニ、不安心ナル所ニ任カスコトハ出來ナイト云フノデ、唯今御尋ノ如ク之ヲドウスレバドウダトカ、利害得失ハドウダト云フコトニ就テハ先刻述べマシタ通り委員會ニ於テハ何モ議論ハアリマセナンド、

○政府委員(清浦奎吾君) 安場君林君ヨリ段々御質問ガ出マシテ唯今委員長ヨリ御答ヘガアリマシタガ尙ホ其點ニ就キマシテ私ガ少シク稍、其足ラザ

ル所ヲ補フテ置キタイト考ヘマス、安場君ノ御問ニ從前戸長役場デ取扱ッタ時ト區裁判所並ニ出張所ニ於テ取扱ヒマスルノト登記ノ取扱ノ確實不確實ハ何レニアルカト云フ斯ウ云フコトヲ委員會ニ於テモ取調ベタカト云フコトデゴザリマスガ夫レヲ舉ゲテ申上ゲマスレバ色々アリマス、色々アリマスガ簡短ニ統計表ト云フ公平ナルモノニ依ッテ從前ハ不確實ニシテ今日ハ稍、確實デアルト云フコトヲ御答ヘ致サウト思フノデアリマス、明治十八年中二戸長筆生ナドノ二重公證ノタメニ罪ヲ犯シタル所ノモノハ三百以上ニ上ッテ居ルト云フ統計デアアルノデゴザリマス、然ルニ二十二年二十三年二十四年ノ調べ見マスレバ登記所即チ此區裁判所出張所ニ於テ取扱ヒマスル時代ニ於キマシテハ書記筆生ナドノ……備デゴザリマス、筆生デハナイ、書記備ナドノ罪ヲ犯シタモノハ六名デゴザリマシテ其内書記ガ二名ニ備ガ四名デアッタト記憶致シテ居リマス、即チ其登記ヲ取扱フ所ノ官吏ノ罪ヲ犯ス所ノモノデサヘモ、明治十八年ニハ戸長並ニ筆生等ノ犯シタル所ノモノハ三百名以上ニモ上ッテ居ル、登記所デ取扱フ時代ニ於キマシテハ前述ベマシタガ如ク僅カ六名位デアルト云フ有様デアリマス、此一點ヲ舉ゲマスルモ何レノ時代ガ確實デアリシヤト云フ御判斷ハ附カウト思フノデアリマス、然ラバ今日登記取扱ハ極メテ確實デアルト云フカト申セバ固ヨリ當局者モ認メヌノデ、隨分此登記取扱上ニ就テ種々ノ賤ガアリ詐欺ガ行ハレテ居ルト云フコトモ耳ニ致シマスルノデゴザリマス、去ナガラモウ一ツ證據ヲ立テマスレバ此民事事件數ノ中ニ於キマシテ是レハ衆議院デゴザリマシタカ本院ニ於テデアリマシタカ此邊モ述ベテ置キマシタガ、民事第一審ノ總數ガ明治十九年ニハ地方裁判所並ニ區裁判所ヲ併セマシテ七萬八千五百五十二件、其内不動産及船舶ニ關スル所ノ訴訟ト云フモノガ一萬四千四百四十四件、即チ總數百ニ付キマシテ不動産及船舶ニ關スル公證ハ二十九件某ト云フニナリマスルノデゴザリマス、夫レカラ二十三年ノ民事第一審ノ總數ハ七萬五千二十一、其内不動産及船舶ニ關スル所ノ訴訟ハ一萬五百八十六、總數百ニ對スル十四件某ト云フモノニナッテ居リマス、デ固ヨリ是レノミヲ以テ證據立ラレマセヌケレドモ即チ此從前ノ公證ナドノ不確實ナル時ニハ民事訴訟ノ内ニ於テ不動産船舶ニ關スル所ノ訴訟百ニ對スル所二十九件、割合ガ餘程多イ、二十三年頃ノ區裁判所並ニ出張所デ取扱フ時代ニ在ッテハ總數百ニ付テ十四件、即チ半數位ニナッテ居ルノデゴザリマス、其一端ヲ以テマシテモ當時ノ戸長役場ニ於テ公證ヲ掌リタル時代ハ不確實デアリマシテ區裁判所並ニ出張所ニ於テ登記ノ確實ヲ保ツト云フ所ノ證據トシテ見ルコトガ出來マスルと思ヒマス、固ヨリ詐偽ハ巧ニ行ハレ易イコトデアリマスルカラシテ決シテ熟練ナル者ガ取扱ヒマスカラシテ少シモ詐偽ノ行ハレスト云フコトハ申サレヌノデゴザリマス、去ナガラ專門ノ能ク注意

シテ取扱フ者ガアルナラバ確實ヲ保ツト云フコトハ斷言シ得ラル、即チ公
平ナル統計表ト云フモノガ我々ニ其確實ナルコトヲ指示スルコト云フ次第デゴ
ザリマス、カラシテ即チ安場君ノ御問ノ從前ト今日ト孰ガ確實ナルカ孰ガ不
確實ナルカト申スコトハ唯今即チ二箇ノ統計ヲ擧ゲテ御話シ申シタ所デ凡ソ
御分リデアラウト思フコトアリマス、林君ノ御問モゴザイマシテ登記所ノ不
便ト云フコトガアルト云フ御話ガ出テ居リマス、是レハ御答ヘデナクシテ私
ハ御話ヲ致シマスガ登記所ノ不便ト申スコトハ當局者ニ於テモ固ヨリ認メテ
居リマス、其不便ヲ救フニハ幾分カ箇所ヲ増設シナケレバナラヌコト考ヘ
マスル、故ニ既ニ本年ノ豫算案ニ二百七十四箇所増設スルコトヲ提出シテア
ル様ナ話デアリマス、成程成ルベク登記所ハ其距離ヲ近クシテ便宜ヲ得セシ
メルト云フコトニハ飽迄モ務メナケレバナラヌケレドモ是レモ亦凡ソ經濟ト
釣合ヲ取ラナケレバナラヌ、固ヨリ登記手数料ノ收入ハ本年ナドハ二百萬圓
以上ニ上ルデアラウト思ヒマス、既ニ昨年百八十萬圓位ニナツテ居ル、其百八
十萬圓ノ登記手数料收入ガアツテ而シテ此登記ノタメニ費ス金ガ幾何ゾト云
ヘバ六十萬圓バカリデアリマス、二百何萬圓位ノ收入ノアル登記事務デアリ
マスレバ實ハ人民ニ便宜ヲ得セシムルタメニハ登記費用ヲ今少シ國家ハ盡シ
テ不都合ハナイコトデアラウト思フコトアリマス、又民間ニ於キマシテモ登
記所ノ距離ガ遠隔ナルガタメニ不便ヲ感ジテ居ルカラシテ政府ニ於キマシテ
モ成ルベク箇所ヲ増シテ其不便ヲ救フ者ヲ持ッテ居リマス、去ナガラ此距離ガ
遠クシテ不便ト申スノハ諸君モ御承知ノ通り明治十二年頃デゴザリマシタ
カ町村役場ノ數ガ七萬モアツタ様デゴザリマス、夫レカラ聯合町村ニナツテ一
萬千幾ラカニナリマシテ、即チ町村制施行ノ頃ハ一萬二千幾ラト云フコトニ
ナツテ居リマス、矢張り此聯合町村ヤ町村制ヲ布イタ頃ハ七萬幾ラト云フ
村ト云フモノガ一萬餘ト云フコトニ減ジテ居ルカラシテ大變不便デアルト云
フコトヲ矢張り話シタノデアリマス、既ニ歷史上我住フ所ノ村數ガ……村ノ
名ヲ潰サレテ大字ニサレタト云フ固ヨリ不便ト云フ不服ハアツタノデ……矢
張り町村役場等ニ苦情ハ等シクアツタノデアリマス、去ナガラ是レハ如何ニ
距離ガ遠イコトカ不便トカ申シタ所ガサウ無限ノ便利ヲ與フルト云フ譯ニモ參
リマスモイト考ヘマス、先ヅ今日ヨリシテ六百箇所位モ増シタナラバ左程不
便ナコトモアリマス、夫レハ當局者ニ於テハ成ルベク増設ノ考ヲ持ッ
テ居リマス、夫レカラ何ヲ以テ今日裁判所ニ於テ取扱ッテ確實ヲ保ツカト云
フ御話デゴザリマスガ既ニ其事ハ是レ迄度モ申シマス通り兎ニ角登記ト云フ
モノハ一種ノ專門ノ仕事デ隨分取扱ヒニクイコトデアリマス、又將來ニ向ッ
テ登記事務ハ益々發達シ且ツ民法商法ノ如キガ行ハルレバ獨リ此地所船舶家
屋ノ登記ノミナラズ他ニ登記ノ必要ガ起ッテ參リマスシ、又用益權地役權ト

カ賃貸權トカ種々ノ登記モ起ッテ參リマス次第デゴザリマスカラシテ、其取
扱フ箇條ガ裁判所ニ屬スベキコトハ今日喋々スルニハ及バヌト思ヒマス、唯
今日缺點トナツテ居リマスノハ登記即チ土地臺帳デアリマス、此土地臺帳ト
云フモノハ固ヨリ備ハリマスレバ此上モナイコトデアリマスケレドモ是レハ
制規ノタメニ未ダ備ハリマセヌデゴザイマス、去ナガラ是レハドウナリ致シ
テ既ニ地券モ廢セラレマシテ不動産所有ノ權利ヲ確實ニスルモノハ何カト云
ヘバ登記ガ一番大事ナモノデアリマス、然ラバ土地臺帳ヲ拵ヘルト云フコト
ハ最モ必要ナモノデアルト云フコトヲ認メテ當局者ニ於テモ調ベテ居ル
コトデアリマスルガ、併ナガラ夫レハ兩院ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌカラ如
何ニナルカ今日カラ斷言ハ致シマセヌガ、今日ノ所ニ於テ段々此府縣並ニ裁
判所ニ照會シテ彼ノ印鑑證明並ニ所有權證明ヲ廢サレタ後ハ如何ナル手續デ
以テ取扱ッテ居ルカト云フコトヲ取調ベテ見ルニ多クハ直稅分署郡役所町村
役場ナドノ證明印、照會等ノ手續ヲ取リマシテ成ルベク錯誤ノナイ様ニト云
フコトヲ務メテ居ルデアリマス、夫レヲ一々照會シテ裁判所ニ回答ヲ取ッ
タモノモアリマス、其中デ東京トカ千葉トカ鳥取トカ云フ所ハサウ云フ様ナ
手續ニナツテ居ラヌ様デアリマスルガ大概ハ皆サウ云フ手續デ成ルベク此錯
誤詐偽ヲ防グ方法ヲ探ッテ居ルデアリマス、カラ致シテ唯何デモカンデモ
持ッテ來サヘスレバヤルノデハナイ、併シ多クノ中ニハ隨分空ナ地所ガ書入
ニナツタトカ何トカ云フコトハ聞カヌデハアリマセヌ、是レハ兎モ角モ縱令
戸長役場デ取扱フニモセヨ區裁判所デ取扱フニモセヨ偶々錯誤アルコトハ免レ
ヌ話デアルト思フコトデアリマス、デ或ハ町村役場デ取扱フト云フコトニスレ
バ町村役場ハ管内ノ區域ガ狭イカラ能ク人民ノ面ヲ知ッテ居ルカラ間違ガナ
イト云フ話モアリマス、成程是レハ裁判所ニ比シテハ區域モ狭イカラ幾分か
知ラル、カ知レヌガ、即チ七萬幾ラノ村役場ノアツタ時分ト一萬二千幾ラニ
減ジタ町村役場トハ趣ガ餘程違ヒマス、今日ノ町村役場ハ三箇所モ五箇所モ
多イ所ハ七箇所モ管轄ヲシテ居リマスカラ人民ノ顔ヲ能ク知ッテ居ルト云フ
ノハ如何ナコトデモ出來スト思フコトデアリマス、夫レカラ印鑑證明ノコトハ
是レハ實ニ左程手續ノ入ルモノデモナイノデ、實ハ二十三年デゴザイマシタ
カ印鑑證明ヲ廢サレマシタノハ甚ダ惜ムノデ、印鑑證明ハ甚ダ不便デアルト
云フ所カラ止ッタサウデゴザリマスガ私ハアレハ他日復シタイト思フコトデア
リマス、唯印鑑ヲ捺シテ而シテ夫レガ證明ヲ取ッテ登記役場ニ届ケサヘスレ
バ宜シイ話デ郵便ヲ以テ送ッテモ宜シイ、一度ノコトデアリマスカラ何モ左
程不便デナイ話デアリマスカラ印鑑證明ノ如キハスツカリ登記役場ニ備付ケ
ルト云フコトハ行ヒマス積リデアリマス、併シ印鑑證明ト云フモノハ實ニ的
ニハナラヌ、隨分實印ハ紛失シタト云フテ他人ガ届ケテ而シテ改印届ヲシテ

詐偽ヲスル様ナコトモゴザイマスカラシテ夫レハ何トモ巧ニ詐偽ヲ行フ點ニ至ツテハ随分防ギニクイモノデアリマス、カラシテ或ハ改印届書ナドノ場合ニハ親友若クハ親族二名以上ノ連印デ届出ルト云フ様ナコトニシタラバ詐偽ノ防ギガ附カウカト、サウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居リマス次第デアリマス、又一體ハ債權者ト云フモノハ苟モ人ニ貴重ナル金ヲ貸ス以上ハ債權者モ夫レ丈ケノ注意ヲシナケレバナラヌモノデアルト思フノデ、唯登記サヘスレバ何デモ宜イト云フモノデハアリマス、且ツ不便ト云フコトハ獨リ距離ガ遠隔ニ付テ不便ノミナラズ此取扱方ガ随分不親切デアル或ハ横柄デアル、登記ヲ受ケニ出レバ既ニ受付時間ガ切レタカラ今日ハイカヌ明日來イト云フカラ頗ル不便ノ種ニナツテ居ル次第デアリマスガ、是レ等ノコトハ飽迄モ親切ニ取扱ヒ又今日ノ所デハ執務時間モ五時迄ニナツテ居リマスカラシテ是レヨリ早クト云フコトハ事實上出來マセヌ話デ出タ者ナレバ即時ニ登記シ得ラル、様ニシテ歸ルト云フ、是レハ飽迄モ親切ニシナケレバナラヌ次第デアリマス、カラシテ其邊ノコトニ付キマテハ十分及ブ丈ケノ手續ハスルノデアリマス、段々御間モゴザイマシテ唯今委員長ヨリ御答ヘヲシテ分ッテ居ルトハ考ヘスケレドモ私ノ考ヘマスル所ヲ陳述致シマシタ、

〔子爵小笠原壽長君演壇ニ登ル〕

○子爵小笠原壽長君 諸君本員ハ訥辯ノ上ニ始メテ此演壇ニ出マシタカラ申シマスルコトガ前後致シマシテ御聽ニクカラウカト考ヘマスケレドモ暫ク御靜聽ノ程ヲ願ヒタイノデゴザイマス、扱登記法改正法案ニ付キマシテハ本員モ特別委員ノ一人デアリマス、唯今委員長ナル中御門侯爵ヨリ委員會ノ結果ヲ委細御述ベニナリマシタカラ最早本員ガ喋々致スニハ及ブマイト考ヘマシタケレドモ本員ハ登記ニハ少シク經驗モアリマスシ又委員ノ一人デモアリマスカラ簡單ニ本案ヲ否決スベシトスル理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、扱此改正法案ノ目的トスル所ハ左ノ二點ニ過ギナイト考ヘマス、第一登記所ノ數ガ少イカラ人民ガ不便ヲ感ズルコト、第二現行登記法ハ手續ガ不完全デアルカラ詐欺ガ行ハレ易イコト、故ニ登記事務ヲ市町村役場ニ移スト云フコトガ此改正案ノ大眼目ニナツタト思ヒマス、成程改正論者ノ言ハレル如ク現今ノ登記所ノ數ハ千二百十八箇所デアリマシテ町村役場ノ數ハ一萬二千六百八十四箇所デアリマスカラ十倍ヨリモ多イノデアリマス、依リマシテ登記事務ヲ市町村役場ニ移シマシタナラバ道ノ遠近カラ論ジマスレバ便利デアリマセウガ、登記ノ眼目トスル所ハ不動産ノ權利擔保ノ確實ヲ得ルノガ即チ登記ノ眼目デアリマスカラ、登記ニシテ確實ヲ得ナケレバ少シモ登記シタ甲斐ガアリマセ、又登記事務ハ司法事務カ行政事務カト申シマスルニ司法事務ト云フコトハ明瞭ナ事實デアラウト思ヒマス、如何トナレバ登記ハ契約者ヲ保護シ併セテ

亂訴ヲ未發ニ防グモノデアリマシテ即チ裁判所デ取扱フ所ノ非訴訟ノ事件デアルト考ヘマス、此二點ニ依リマス裁判所デ取扱フノハ當然ナコトト考ヘマス、其上改正論者モ司法事務ト云フコトハ認メテ居リマスカラ此法案第四條ニ「登記ハ區裁判所之ヲ監督ス」トアリマス、然ラバ前ニモ申ス通り裁判所デ取扱フノハ當然ナコトデアリマス、夫レノミナラズ是レマデ區裁判所デ登記ヲ取扱ッテ居リマスノ少シモ不都合ハアリマセヌ、然ルヲ何ヲ苦ンデ登記事務ヲ市町村役場ニ移スト申シマスカ、本員ノ如キハ何分了解致シマセヌ、果シテ市町村役場ニ登記事務ヲ取扱ハシムル時ハ不動産ノ確實ヲ得マセウカ、本員ハ甚ダ覺束ナキコト信ジマス、抑モ諸君モ御承知ノ通り登記事務ハ公證事務トシテ明治六年ヨリ明治二十年頃マデハ戶長役場ニテ取扱ッテ居リマシタ、然ルニ公證ノコトガ案亂致シマシテ一人二人ノ權利義務ガ紛雜スルニ止マラズシテ公證帳簿其物ノ全部ガ紛失錯雜致シマシテ關係人ニ催促ヲシテ更ニ登記ノ申出ヲナサシムルコトノ官報上ニ續々現レマシタコトハ諸君ノ御記憶ニモ歷々著明ナルコトト信ジマス、其上管理者タル戶長筆生等ノ犯罪者ガ年々ニ増加致シマスカラ是レデハ不動産ノ確實ヲ得ルコトガ出來ナイノミナラズ、人民ニ非常ナ迷惑ヲ與ヘルト云フ所カラ明治十九年八月ニ至リ登記法ヲ發布セラレ明治二十年二月カラ區裁判所デ取扱フ様ニナリマシタ、然ルニ明治二十年二月カラ本年本月マデ即チ六年間ニ犯罪人ハ裁判所書記ニ三名雇ニ四名即チ七名デアリマス、故ニ之ヲ明治十八年頃ノ戶長筆生ノ犯罪三百件以上ニ比較スレバ殆ドナイト云フコトニナリマシタナラバ決シテ改正デハナクシテ又町村役場ニ移スト云フコトニナリマシタナラバ決シテ改正デハナクシテ舊ニ復スルト云フコトデアリマス、夫レ故ニ又登記事務ノ案亂スルコトハ明瞭ナ事實ト考ヘマス、併シ改正論者ノ言ニハ公證事務ヲ取扱ッタ戶長ハ官選デアルカラ不都合ガ多イ、當時ノ町村長ハ其地ノ名望家ノ公選シタルモノデアルカラ不都合ハナイ、其上ニ登記ハ區裁判所ヲシテ監督サセルカラ少シモ差支ハナイト云フコトデアリマスケレドモ、登記事務ト云フモノハ實ニ繁多ナモノデアリマスコトハ本員經驗上ニ於テ能ク承知シテ居リマス、故ニ町村役場ノ如キ行政事務ノ繁多ナル所ニテ町村長ガ自ラ登記ヲ取扱フコトハ決シテ出來マス、出來マセヌトスレバ登記事務ヲ取扱フ者ヲ雇ハナケレバナリマス、諸君如何デゴザイマセウ、此雇入レル人ハ公選デアリマセウカ決シテ公選デアリマス、町村長自ラ信ズル人ヲ雇入ル、デアリマセウ、サウスルト町村長ニハ不都合ガナイトシテモ雇入レラレタ人ハ如何デセウ、決シテ不都合ナ人ハナイトハ申サレマス、又夫レ等ノタメニ登記ハ區裁判所ヲシテ監督サセルト云フコトデアリマセウケレドモ此監督ノコトハ實ニ有名無實ナモノデアルト信ジマス、如何トナレバ今日ノ町村長ハ何ヲ以テ町村

長ニナッテ居ルカト申シマスレバ即チ町村長ヲ選舉スル方法ガアッテ町村長トナッテ居リマスカラ町村長ヲ懲罰スルナドノコトハ決シテ他ヨリハ出來マセヌ、夫レ故ニ此監督ト云フモノハ此改正法案第五條ニアリマス通り毎月登記簿ノ謄本ヲ作ッテ區裁判所ニ見セルト云フコトガ監督ノ方法ニナッテ居リマス、諸君如何デゴザイマセウ夫レ監督ノ方法ガ立チマセウカ、決シテ本員ハ立ッタモノトハ信ジマセヌ、如何トナレバ登記簿ノ謄本ヲ區裁判所ニ送付致シマシテ區裁判所デ其謄本ヲ調べテ不都合ナ所ヲ發見致シマシテ何故斯様ナ登記ヲ致シタカト責メマシタ所ガ所謂後トノ祭リデドウスルコトモ出來マセヌ、又中ニハ後トニテ直サセルコトガアルト致シマシテモ登記簿ト云フモノハ寫本ナドノ様ニ書損ガアッタト言ッテ矢鱈ニ消スト云フコトハ出來マセヌ、又矢鱈ニ消ストヲ許シマスレバ實ニ登記簿ハ反古同様ニナッテ仕舞ヒマスカラ決シテ登記簿ノ性質トシテ容易ニ訂正等ハナラヌモノデアリマス、又登記簿ノ謄本ニハ不都合ガナイトシテモ登記ノ成立ニ必要ナル原素即チ契約證書ハ勿論委任狀及其手續等ハ果シテ法律ノ規定ニ適合シテ居ルヤ否ヤ登記簿ノ謄本ヲ見タバカリデハ區裁判所ハ之ヲ調べル途ハ決シテアリマセヌ、然ラバ如何ナル方法ヲ以テ區裁判所ハ監督スルカト申シマスルニ監督スル方法ハ一ツモナイト本員ハ信ジマス、故ニ本員ガ區裁判所ノ監督ハ有名無實ト申ス譯デアリマス、其上登記ハ御承知ノ如ク民法、商法、訴訟法ニ牽連シテ居リマスルカラ一ト通り諸法ヲ知ッタ者デナケレバ容易ニ登記ノ取扱ヲ全ウスルコトハ出來マセヌ、其上商法ニ關スル登記モ定メラレタルノミナラズ又民法實施ノ曉ニハ用益權、使用權、住居權、賃借權、永借權、地上權、地役權等ノ登記モ追々是レモ取扱ハナケレバナリマス、然ルニ是レマデ一度モ登記事務ニ從事シナカッタ者ガ右等ノ登記ヲ突然取扱フト云フコトガ出來マセウカ、本員ハ決シテ出來ナイト思ヒマス、夫レ故此改正案モ商業登記ハ迎モ市町村役場デハ出來ナイト考ガアリマスカラ法案ノ題號ヲ地所建物船舶登記法トシテ商業登記ハ矢張り區裁判所デ取扱フコトハ明瞭デアリマス、斯ノ如ク登記所ヲ裁判所ト市町村役場ト二箇所ニ作ルコトハ國家經濟上甚ダ不得策ト言ハザルヲ得マセヌ、又或ル論者ノ言フニハ裁判所ノ書記ハ他ヨリ赴任シテ來ル者デアアル故ニ其地ノ人ノ顔ヲ知ラスカラ詐偽ガ行ハレ易イ、町村長ナレバ其土地ノ人ノ顔ヲ悉ク知ッテ居ルカラ詐偽ガ行ハレ難イト云フコトデアリマスガ是レハ一向取ルニ足ラヌ議論ト思ヒマス、如何トナレバ登記ハ必ズ本人デナケレバナラヌト云フコトハアリマセヌ、代人デモ宜シイカラ代人ヲ以テ登記ヲ願ッテ來マシタ時ハ本人ノ顔ヲ知ッテ居ッテモ何ノ役ニモ立チマセヌ、其上現今ノ町村ハ從前ノ一村トハ違ヒマシテ數村ヲ合シテ一村トナシテ居リマスカラ其町村長ガ其土地ノ人ノ顔ヲ悉ク知ルト云フコトハ實際ムツ

カシイコトト思ヒマス、故ニ此論點ハ前ニモ述べマシタル通り取ルニ足ラザル論點ト思ヒマス、夫レヨリモ詐欺ヲ防グニハ從前ノ通り登記出願人ヨリ印鑑證明書ヲ徴シ且ツ土地臺帳ヲ裁判所ニ備ヘ置クナラバ十分詐偽ハ防ガル、コトト思ヒマス、畢竟詐偽ノ行ハレ易イト申シマスモノハ戶長證明ノ手續ヲ廢止シタルヨリ其結果トシテ偽印ノ行ハル、弊ハ今日頗ル注目スベキ廉デアルト思ヒマス、然ルニ印鑑取締方ハ政府ニ於テ目下取調中デ遠カラズ實施スルト云フコトデアリマスカラ此弊ハ十分救ハレルコトト考ヘマス、又登記簿ノ改正即チ土地臺帳ノ設備ハ最モ必要デアリマスカラ是レ亦考案中ノ由ヲ政府委員ヨリ承リマシタ、到底登記法ノ完全ハ右土地臺帳ノ完備スルニアラザレバ之ヲ望ムコトハ出來マセヌ、依ッテ本員等ハ此案ノ如キ姑息ノ變更ハ取ルニ足ラヌモノト思ヒマス、併シ現今登記所ノ數ガ少イカラ人民ガ不便ヲ感ズルト云フコトハ本員等モ承知致シテ居リマス、其點ハ政府モ既ニ著目サレマシテ明治二十六年年度豫算案ニハ登記所ノ數ヲ二百七十四箇所増設スル計畫ヲ立テラレテ豫算案ヲ出シテ居ラレマス、サウスルト現今ノ千二百十八箇所ニ此度ノ二百七十四箇所ノ數ヲ加フレバ大イニ登記所ノ數ノ少イト云フ苦情ヲ或ハ慰ムルコトガ出來マセウ、夫レノミナラズ政府ハ追々増設スルト云フコトハ政府委員ノ過日ノ演說デモ明瞭デアリマス、サウナレバ少シモ人民ニ不便ヲ來スコトハアリマス、サウスルト必シモ町村役場ニ登記事務ヲ取扱ハセテ是レマデ追々登記事務ノ整頓シ來リタルモノヲ又ワザワザ紊亂サセル様ナコトヲスルニハ決シテ及ビマス、夫レモ裁判斷所ガ登記事務ヲ取扱フコトハ諸君モ御承知ノコトデアリマス、故ニ町村役場ニ登記事務ヲ取扱ハセルト云フコトハ本員ノ甚ダ取ラザル所デアリマス、併シ斯ク論ジ來リマシテモ現今ノ登記取扱手續ニハ随分不完全ノ點ガアルコトハ本員モ認メテ居リマス、其ノミナラズ政府ニ於テモ其邊ニ著目セラレテ居リマスル趣デアリマスカラ何レ早晩完全ナル取扱規則ヲ定メラル、コトデアリマセウ、其上登記所ノ數ガ増セバ少シモ人民ニ不便ノナイコトト本員ノ固ク信ズル所デアリマス、終ニ臨ンデ一言當局者ノ注意ヲ求メネバナラヌコトガアリマス、其事ハ登記官吏ガ人民ニ對シテ往々不親切ナ所爲ガアリマス、例ヘバ登記受付時間ヲ午前十時ト極メタナラバ三四分過ぎテモ、モウ今日ハ時間ガ切レタカラ行ケナイト言ッタリ、又ハ登記出願ノ書類ガ書式ニ違フコトガアルト是レハ行ケナイ、書キ直シテ來イト言フト人民カラドコノ點ガ惡ルウゴザイマスカト尋ネルト此所ハサウ云フコトヲ教ヘル役所デハナイ、登記法ヲ見ロトカ又ハ代書人ニ聞ケトカ言ッテ勿付ケタリ、或ハ書式ガ惡イト言フテ却下シタルヨリ訂正シテ差出ス中ニ二三分モ受付時間ガ遅レ、バモウ今日ハ行ケナイト

言ッテ受付ヲシナイ様ナコトガアリマスカラ左様ナ人民ニ不親切ノナイ様ニ當局者ニ於テ十分御取締アラムコトヲ偏ニ希望致シマス、甚ダ御聽苦シウゴザイマシタラウ、

○男爵榊取素彦君 唯今ノ御説明ニ對シテチヨット可決ニナリマシタ次第ヲ御尋ね致シテ置キマスル、何レ先ヅ是レハ改正スベキモノト見込デアッテ今日ノ所此提出案ノ所ノ登記法ト云フモノヲ町村役場ニ委シテ置イタ所ガ不都合ト云フ所ガ根源トナリマシテ是レガ否決シマシタ譯デアリマス、又委員會ニ於キマシテハ大イニ御議論ガアッテ即チ唯今政府委員ヨリモ追々ニ演說モゴザリマスシ又唯今ノ演說ニモゴザリマシタ何レ臺帳ヲ備ヘル又印鑑證明ト云フモノヲ取戻ス、何レサウ云フコトガアレバ此登記法ハ早晚改正セザルヲ得スト云フコトデアリマスルノデアリマセウカ、其時ヲ以テ改正致ス故ニ此案ハ可決スルト云フコトデアリマス、左様ナコトニ拘ラズ唯此原文ト云フモノガ町村役場ニ登記ヲ任セルト云フノハ不都合デアルカラ其點ヲ以テ否決シタ譯デアリマスルカ、委員會ノ御論定ノ所ヲチヨット承ッテ置キタイ積リデアリマス、

○子爵小笠原壽長君 御答へ致シマスルガ委員會ノ結果ハドウモ登記事務ヲ町村役場ニ移シマスレバ從前戸長役場ニ取扱ッテ例モアリマスカラ又ドウモ登記事務ガ紊亂スル、夫レデ今裁判所デ之ヲ取扱ッテ追々登記事務ハ整頓シ來リタルノミナラズ決シテ取扱ッテ居ッテモ別段不都合ノコトハナイ、唯詐欺ガ行ハレル、其詐欺ノ行ハレルト云フコトハ是レハ畢竟土地臺帳ガナイノト印鑑證明ノ手續ヲ政府デ廢セラレタカラ詐欺ガ行ハレル、譯デアリマスカラ是レハ土地臺帳ヲ具ヘ印鑑證明ヲ備付ケレバ決シテ之ヲ區裁判所ニ取扱ッテ居ッテモ聊カ不都合ハナイ、町村役場ニ移シタナラバ却ッテ登記事務ガ前ノ戸長ノ役場ノ例ノ様ナコトガアッテハ不都合デアルカラ是レハ町村役場ニ委スベキモノデナイト云フ委員會ノ結果デアリマス、

〔林宗右衛門君演壇ニ登ル〕

○林宗右衛門君 本員ハ此衆議院ノ送付案ニ大體賛成ヲ致シマスルモノデアリマスガ、併シ前以テ申上ゲ置キマスルガ唯此町村長ヲ以テ取扱フト云フ所ヲ即チ登記取扱吏ヲ以テ扱フ斯ウ云フコトニ本員ハ致シタイノデアリマスルガ、併シ是レハ二讀會ノ時分ニ修正說ヲ持出シマスルデアリマス、先ヅ大體ニ付キマシテ此送付案ニ賛成ヲ致シマスル趣意ヲ一應述ベマシテ諸君ノ御參考ヲ煩ハシタイト考ヘマス、抑、御承知ノ如ク此登記ト申シマスルモノハ明治二十年ノ二月ニ始マリマシテ又二十一年ニ之ヲ改正セラレ全國ノ裁判所ニ於テ其事務ヲ取扱フトコトニナリマシタ、其以來民間互ノ不便困難ハ云フマデモナク又其方法ノ不備缺點ヨリタメニ受クル所ノ弊害ハ實ニ枚舉スルニ遑アリ

マセヌ、先ヅ試ニ其重モナル著シキ二三ヲ舉ゲテ御參考ニ供シヤウト思フ、先ヅ第一ニ現登記所ノ區域ノ廣漠ニ過ギ一般人民ニ於テ其弊害不便ノ多キコト、之ニ付キマシテ聊カ理由ヲ述ベマスルデアリマス、扱唯今登記所即チ區裁判所ノ出張所ナルモノハ其區裁判所ノ區域ノ遠隔地方ハ往復旅費ヲ空シウスルノデアリマス、延イテ急要ナル登記結了ノ遷延ヲ來シタメニ民間規定ノ契約取引日限ニ違約ヲ生ズルコトデアリマス、之ガタメニ受ケマスル損害ト云フモノハ又甚シキコトデ、其不便困難ハ實ニ名狀スベカラザルコトデアリマス、例ヘバ今五六乃至七八里隔ッタル村落ニ住居ヲスル者ガ是レガ登記ヲ受ケムトスルニハ其登記所ニ達スルニ五時間乃至七時間ノ時間ヲ費サネバ達スルコトガ出來マセヌ、而シテ成規ノ手續ヲ經テ登記ヲ完了スルニハ往復ヲ合セテ二日ノ日數デモ尙ホ不足ヲ生ズル様ナ事實デアリマス、時トシテハ誤字訂正ノ廉ガアッテ原籍ノ役場又ハ收稅部出張所ニ往復ヲ要スル場合ニ於テハ再ビ貴重ノ時日ヲ旅費ヲ空シクスルノデアリマス、否ナ其貴重ノ時日ヲ旅費ヲ空シクスルノミナラズ是レガ時日ヲ費スタメニ先キニ述べル如ク契約期日ヲ延バシマシテ折角ノ登記モ所謂六日ノ舊曆十日ノ菊トナリマス、故ニ非常ノ損害ニナリマス、加フルニ登記料スラ尙ホ重キヲ感ズルニ斯ノ如ク損害ヲ被リ多額ノ旅費ヲ擲ザルヲ得ザルノデアリマス、尙ホ貧困人民等ハ一時ノ急ヲ救ハムタメニ其土地ヲ書入レ僅々タル金ヲ借入レル如キモノハ實ニ聞クニ忍ビズ見ルニ堪ヘザルノ情況デアリマス、是レ即チ我が帝國到ル所苦情ヲ唱ヘ不平ヲ鳴サザルハナイノデアリマス、是レ等ノ被害困難ヲ救フニハ各、市町村長ヲ登記取扱吏ト致シマシテ毎役場ニ於テ登記事務ヲ取扱フモノトセバ人民ハ所ニ居ナガラ其用ヲ辨ジマス、從ッテ貴重ノ時日ヲ費用トヲ空シクスルノ憂ハアリマセヌ、此便宜タルヤ誠ニ明ナコトデアリマス、是レ本員ガ大體ヲ賛成致シマスル第一理由デアリマス、第二登記所ニハ缺點有害ノ多キコト、抑、缺點有害トハ何デアラウカト云ヒマスレバ現今登記法ノ不完全即チ是レデアリマス、何トナレバ現今ノ登記所ハ其登記法十分ナルノミナラズ彼ノ二十三年七十八號ノ布告ヲ以テマシテ登記法第四十條ヲ改正セラレタコトデアリマス、其四十條ナルモノハ戸長ノ證明手續ヲ廢セラレタノデアリマス、ニモ拘ラズ現登記所ノ登記ノ基本トナルベキ土地臺帳及印鑑簿ノ籍簿後見人居簿等ノ備ガ備ッテナイノデアリマス、單ニ人民ノ請求ニ應ジ其重要ナル登記ヲナス所ノ規定デアアル、斯ル單純ナル法律デアルカラシテ詐欺ハ自然其間ニ行ハレマシテ不動産ノ安固ヲ保ツコトハ出來ヌデアリマス、今又一證ヲ舉ゲテ見マスレバ既ニ先般政府委員カラモ不動産ノ犯罪人ハ前三箇年ヲ調べテ見レバ二十二年ニハ三百人、二十三年ニハ三百五十八人、二十四年ニハ三百七十八人、斯ウ云フコトニナッテ居ル様ニ御述べニナッテデアリマス、併シ是

レハ即チ其登記振吏ト云フコトデナクシテ人民ガ登記ノ詐欺ヲ致シマスル人
員デアリマス、ト申シマスルノハ前ニ述ベマス通り原本トスル登記所ニハ土
地臺帳ナリ印鑑簿ガナイカラ唯單ニ人民ノ申立テニ依リマシテ登記ヲ受ケル
カラスル犯罪人ガ出來ルコト本員ハ信ジマス、年々二十人乃至三十人ヅ、
ハ現今デスラ犯罪人ガ増シテ居ル様ニ承ッテ居リマス、是レハ全ク前ニ述ベ
タル基本トスベキ諸帳簿ノ缺點ヲ見込ミマシテ詐欺奸惡ヲ行ヒ犯罪人モ年一
年ニ増スト云フコトハ事實ニ於テ免ルベカラザル次第デゴザイマス、斯ル事
實ガアルガ故ニ本員ハ此缺點有害ノ語ヲ以テ現行法律ノ不完全ヲ證明スルノ
デアリマス、然ラバ如何シテ是ガ矯正ヲナスカト云ヒマスレバ是レハ先刻モ
委員ノ一人ヨリ御演說モアリマシタ如ク土地臺帳ヲ新調シテ登記ノ基礎ヲ確
定セネバナラス、然ラバ今之ヲ實施スルニハ豫テ二十五年度即チ二十四年ノ
豫算ニ舉ッテ居リマスモノヲ本員ハ記憶致シテ居リマスガ全國ノ地所ノ筆數
ト云フモノハ殆ド一億三千萬餘デアリマス、其基礎ニ用フル土地臺帳ノ新調
ハドノ位掛ルカト云ヒマスレバ一百有餘萬圓ノ費用ヲ要スルト云フコトヲ
承ッテ居リマス、既ニ二十五年度ノ中ニ三十萬圓ノ費用ヲ要スルト云フコトヲ
ハ考ヘテ居リマス、然ルニ此一百有餘萬ノ費用ノ掛リマスコトハ目下歳費節
減ノ折柄如何トモ國家經濟ガ許ス所デナカラウト本員ハ信ジマス、然ル時ハ
此缺點有害ヲ矯正スルニハ取リモ直サズ市町村吏ヲシテ登記ヲ扱ハシムルヨ
リ外ニ道ハナイノデアリマス、最モ前申シマス通り市町村長ノ資格デハ扱ハ
スノデアアル、本員ノ見込ミマスルノニ市町村長ヲ登記振吏ト云フコトニ致
シテ場所ハ即チ市町村役場ニ於テ扱フコトニ致シタイノデアリマス、斯ク改
正致シマスレバ管轄區域ハ最モ適當ヲ得マスルシ從ッテ登記請求者ノ簡易ハ
勿論、其他往復諸般ノ冗費ト云フモノガ大キニ無クナリマスデアリマス、
其困難ヲ省クノミナラズ市町村役場ニハ土地臺帳ノ謄本モアリマス、且ツ地
租徵收ノ基本タル土地所有者名寄帳モアリマス、又家屋稅徵收簿モアリマ
ス、印鑑簿ナリ戶籍簿ナリ後見人屆簿ナリ常ニ是レハ具ヘテアルノデアリマ
ス、然ル以上ハ登記請求者ガアル時ニハ直ニ其原簿ニ就キマシテ其物件毎ニ
例ヘバ土地ナレバ字、番、反別、地價、地租及其所有者又實印ナリ戶主、非
戶主、後見人等ノ記名調印シタ請求書ニ疑團ガアレバ印鑑簿ナリ戶籍簿ナリ
後見人屆簿ナリ手元ニ總テ備ッテ居レバ對照點檢スレバ速ニ誤字或ハ偽造ノ
惡漢ヲ看破スルノ方法ガ備ッテ居ルノデアリマス、加之現今市町村ノ吏員ハ
孰モ土著ノ者ニシテ人民一般ノ習慣ナリ各自ノ精神ニ至ルマデモ能ク實地ノ
經驗ニ富ンデ居リマス、其登記其者ノ時價ノ鑑定ニハ完全無缺ノ適任者ト私
ハ認定スルニ躊躇致サスノデアリマス、故ニ斯ク改正シテ始メテ登記法ノ目
的即チ不動産ノ所有權ヲ鞏固ニシ債權ノ擔保ヲ確定ニシ以テ契約ノ保護ヲ完

ウシ其濫訴ヲ未發ニ防グノ實功ヲ奏シ、民間ノ困弊ヲ息メ從ッテ金融ノ途ヲ
増進致シテ是レト同時ニ農工商ノ進歩ハ勿論、國家經濟ノ美果ヲ結バシメ實
ニ一舉兩得萬全ノ策ト本員ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、是レ即チ原案ヲ贊
成致シマスル第二ノ理由デアリマス、第三ニハ現行登記法ノ不完全ナル結果
トシテ土地臺帳ノ所轄廳ノ煩雜ヲ來シ從ッテ人民ノ困難ニ及ブコト、扱登記法
ノ不完全ナルコトハ敢テ人民ノミニ止ラヌノデアリマス、是レト關係スル所
ノ土地臺帳所管廳ノ手數等ノ煩雜モ容易ナラヌコトデアリマス、如何トナレ
バ彼ノ二十三年ニ本法ノ改正以來土地臺帳管轄廳ニ於テハ總テ登記所ヨリ通
知ヲ受ケタル土地ニ對シテ其異動アル毎ニ登記所ニ通知ヲシナケレバナラヌ
コトニナツテ居ル、又官有地拂下ノ如キハ其許可ヲ得タルモノヨリ地方廳ニ
向ッテ登記請求ノ手續ヲナシ地方廳ハ其請求書ヲ以テ又更ニ登記所ニ登記ヲ
請求スル順序デアリマス、然ルニ登記所ハ前段述ブル如ク基本トナルベキ土
地臺帳ガナケレバ對照點檢スルコトノ便利ガナイ、唯單ニ登記請求者ノ申請
ニ應ジテ登記ヲ結了シテ登記取扱所ハ土地臺帳所轄廳ヘ通知ヲスルノデアリ
マス、然ルニ所轄廳ニ於テ記入ノ際ニ其所有者ノ名前ガ確實ナラザルカ或ハ
確實ナルモ土地ナレバ地目或ハ反別坪數或ハ字番等ノ差違ヲ發見致シマシテ
之ヲ登記所ニ照會致シマシテモ所有者ヨリ登記ノ變更ヲ請求セザレバ登記ノ
變更ヲ訂正スルコトハ出來マセヌ、故ニ已ムヲ得ズ登記料ト手數トヲ要シマ
シテ所有者ヨリ登記ヲ請求スル、斯ノ如ク官民共ニ手數ヲ煩ハシ以テ費用ヲ
重ネバ登記ノ完全ヲ得ヌト云フ今日ノ實況デアリマス、是レ即チ原簿トスル
所ノ土地臺帳ガナイ故ニ斯ノ如ク煩雜ヲ來スノデアリマス、今之ヲ市町村役
場デ取扱フコトニ致シマスレバ前述ベマス通り豫テ備ッテ居ル帳簿ガアリマ
スカラ之ヲ直ニ判然點檢スルコトガ出來マスニ依ッテ斯ノ如キ弊害ト云フモ
ノハ忽チ洗除致シマシテ官民共ニ便益ヲ得ルコトニナルノハ信ジテ疑ヒマセ
ヌ、是レ即チ送付案ヲ贊成スル理由デアリマス、以上述べル如ク其弊害ハ數
條ノコトデアリマス、其他ニモ大變アリマスケレドモ先ヅ餘リ長クナリマス
カラ此邊デ止メマスデアリマスガ、唯今述べマシタル如クノ次第柄デアリ
マスカラ諸君宜シク御參考アッテ此衆議院送付案即チ市區町村役場ニ於テ登
記ヲ取扱ハスルト云フコトニ致シマシテカラニ先ヅ市町村役場ニ於テ登記ヲ
取扱ハシムル所ノ案ニ贊成アラムコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 松岡君ハ問題ニ付テノ御發言デスカ、

(松岡康毅君「林君ニチヨット質問致シタウゴザリマス」ト述フ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チ下サイ、本日ハモウ餘程遅クナリ
マシタカラ延會ヲ致サウト存ジマス、本日衆議院ヨリ政府提出取引所稅法案

ヲ受領致シマシテゴザリマス、辯護士法案ニ關シマシテ衆議院ヨリ通牒ヲ受領致シマシタカラ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

〔金子書記官長朗讀〕

一 辯護士法案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ對シ未タ同意ヲ表スルヲ得サルヲ以テ兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムヘシト議決セリ仍テ議院法第五十五條ニ依リ及請求候也

明治二十六年二月二十一日

衆議院議長 星 亨

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶殿

本院協議委員ノ數ハ十名ト爲スニ決セリ仍テ此段及通知候也

明治二十六年二月二十一日

衆議院議長 星 亨

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 次ニ先刻本席ニ御委託ニナリマシタル取引所法案再付託ノ特別委員及商法及商法施行條例中改正並施行法律案委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

〔金子書記官長朗讀〕

取引所法案特別委員

子爵 林 友 幸 君	子爵 由 利 公 正 君
子爵 酒 井 忠 彰 君	子爵 小 畑 美 稻 君
三 好 退 藏 君	男爵 菊 池 武 臣 君
村 田 保 君	下 鄉 傳 平 君

馬 場 道 久 君

商法及商法施行條例中改正並施行法律案特別委員

侯爵 西園寺公望君	男爵 橫 村 正 直 君
箕 作 麟 祥 君	三 好 退 藏 君
渡 正 元 君	村 田 保 君
川 田 小 一 郎 君	富 井 政 章 君
渡 邊 甚 吉 君	

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、登記法改正案、衆議院提出、第一讀會ノ續、第二、……議事日程ヲ定メルコトニ付テ一應御衆議ニ諮フコトガゴザリマス、夫レハ狩獵法案ガ衆議院ヨリ廻ッテ居リマス、輸入棉花關稅免除法律案、明治二十三年法律第八十四號改正案、是レ丈ケ衆議院カラ廻ッテ居リマスガ、昨日御配布ニ及ビマシタ案デアリマスカラ二日ヲ經テ明後日デナケレバ議事日程ニ

掲ゲラレマセスガ、最早會期モ切迫致シマシテ餘日モゴザリマセスカラ明日ノ議事日程ニ掲ゲヤウト存ジマスガ御異議ガナケレバサウ致シマス、

〔子爵谷干城君 別ニ異議ハアリマセスト述フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段御異議ガナイト存ジマスカラ唯今朗讀致シマシタ議事日程ノ續ヲ讀ミマス、第二、狩獵法案、衆議院提出、第一讀會、第三、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第四、輸入棉花關稅免除法案、衆議院提出、第一讀會、第五、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第六、明治二十三年法律第八十四號改正案、衆議院提出、第一讀會、第七、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第八、市町村立小學校教員俸給ヲ國庫補助トスルノ請願、會議、第九、郡分合ノ請願、會議、第十、復祿ノ請願、會議、第十一、官林制度改正ノ請願、會議、第十二、小學校教育費國庫補助ノ請願、會議、唯今ノ特別委員ノ御方ハ委員長副委員長ヲ速ニ御選ビニナルコトヲ希望致シマス、

午後四時四十三分散會